

[第1号議案]

1-1. 2016 年度事業報告書

1. 概況：重点活動
 2. 会員の異動状況
 3. 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
 4. 実施事業1：調査研究活動（定款第4条1項1号および2号）
 5. 実施事業2：人材育成（定款第4条1項4号）
 6. 実施事業3：学術講習会の開催（定款第4条1項1号および2号）
 7. 実施事業4：会誌の刊行（定款第4条1項1号および2号）
 8. 実施事業5：論文誌・学術図書等の刊行（定款第4条1項1号および2号）
 9. 実施事業6：標準化活動（定款第4条1項3号）
 10. 実施事業7：国際活動（定款第4条1項5号および2号）
 11. その他：関連学協会との連絡および協力（定款4条1項6号）
 12. 法人運営
- 付1. 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
 - 付2. 研究会および研究発表・学術講習会等一覧
 - 付3. 刊行物（会誌・論文誌・図書等）一覧
 - 付4. 国際会議一覧
 - 付5. 表彰等
- その他・附属明細書

2016 年度 事業報告

1. 概況および重点活動

IoT (Internet of Things) , ビッグデータ, 人工知能(AI)が社会の注目を集め, これからの未来を大きく変えようとする現在, 本会の果たすべき役割はますます広がっている。これまで学会の抜本的改革を継続的に推進してきたが, 正会員の減少傾向に歯止めをかけるには至らず, 個人会員数は減少となった。本年度は長期的視点に立って安定した学会運営を実現し新たな戦略投資を可能にするため, 財務の改善を主眼に置いた 27 年振りの正会員会費の改訂を断行した。引き続き会員数減の要因分析と検討を進めるとともに, 新たな活動のための中長期計画の具体化・学会システムの刷新ロードマップの策定などが進みつつある。調査研究活動, 学会誌の発行, 論文誌編集活動, 学術講習会の開催, 標準化活動においても, 新たな取り組みに挑戦しつつ, 例年通りの成果を上げている。財務的には, 種々のコスト削減の施策を行い, 当年度黒字を達成した。また, 会員サービスを中心とするこれまでの学会の在り方を補完する, 新たな取り組みの検討を開始した。社会に対して本会の専門性を還元するため, イベント企画を推進し本会会員だけでなく一般の方々に向けた活動とし ICT 技術の価値を発信する。ICT 技術の使い手である他学会や企業との連携を実現し, 技術に対する健全なフィードバックを得る。本会はこれらを通じて社会から信頼される ICT 技術のリーダーシップを確立していきたい。この活動を IPSJ イニシアティブと呼んで, 長期戦略担当理事を中心に議論を進めている。

特筆すべき改革や成果としては, 下記のものがあげられる。

- 継続的な学会運営と財務基盤の安定のために 10 月 28 日の臨時総会の決議を以って 27 年間据え置かれてきた正会員年会費を値上げした。さらに年度途中の入会に対する繰越し処理を止め, 年度区切りの会費徴収に切り替えることでシステム化を見据えた事務処理の合理化と短期の入退会の抑止を図った。
- 実務家・IT エンジニア向け新サービスである認定情報技術者制度 (CITP) において個人認証では新たに 6,339 名 (個人からの登録 14 名, 認定企業からの登録 6,325 名) の認定情報技術者が誕生した。また企業認定の本運用も開始され, 昨年度認定された 5 社に加えて今年度は新たに 2 社が認定された。
- 長期戦略理事が中心となり, 本会の IPSJ イニシアティブとしてサステナブルな学会の在り方を確立する中長期戦略の具体化が開始された。
- 女性会員増への取り組みとして, 女性会員の活躍を支援する Info-WorkPlace 委員会において, 女性会員のネットワーク構築のための Web サイト立ち上げ, SNS での情報発信, メーリングリストの整備をすすめた。また, 関連イベントへの積極的な共催参加, 全国大会「Life Hacks for WorkPlace」での自主イベント企画などを通じ広報と会員の意識向上に努めた。
- 新世代企画委員会における若手の活発な取り組みを続け, ニコニコ動画との連携, 全国大会での「IPSJ-ONE」, 学会イベント受付のオンライン化, ニコニコ静画での学会コンテンツの販売, 勉強会フォーラム等の取り組みを推進した。また, 研究マッチング (試行サービス) を開始した。
- 学会情報システムの刷新に向けた現状調査を実施するとともに, イベント・シンポジウム・支部・研究会のシステムの統合も含めたロードマップを策定した。現行システムの集約だけでなく業務フロー自体の見直し/簡略化を進め, 新規システムの構築の具体的なスケジュールを策定し, システム改版作業を進めている。今後のシステム構築の計画としてロードマップを策定した。2016 年度は, 業務プロセスを見える化して必要の有無や修正を検討, 改善し, 2017 年度は開発と検証を実施する。2018

年度は稼働開始と移行作業に充てる予定である。

- 本会の専門性を社会に還元する活動の一環として、文部科学省委託事業「先導的・大学改革推進委託事業（超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究）」ならびに、大阪大学からの再委託事業として文部科学省委託事業「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」の一部を受託した。

この他にも、グローバル化を目指した取り組み、査読システムのリニューアル、電子図書館のサイトライセンスサービス、国の政策や方針に対する活発なパブリックコメントの発信、国内外学会との連携などで多くの成果が出始めている。

1.1 学会運営体制の充実および財政基盤の強化

急激に変化する環境の中で、学会を安定的に運営しつつ、これを発展させるために、学会としてのトラディショナルな活動は今までどおり大切にしつつ、新しいアイデアを積極的に取り入れて、学会を柔軟に改革できる運営体制の整備として下記の施策を進めた。

- ① 2017年度からの正会員の年会費改訂（2016年10月臨時総会で決議）、新規入会者の年会費年度化を実施した。
- ② 若い世代の柔軟な発想を学会運営に取り込むべく、「新世代理事」を中心とした新世代企画委員会活動の活性化を推進した。
- ③ 「長期戦略理事」を中心に、学会活動の拡大（会員増）、経営（財務）基盤の安定という2つの大きな目標の観点から中長期戦略の検討をすすめた。
- ④ 第三者機関であるアドバイザーボードからの提言を適宜諸事業へ反映した。
- ⑤ 女性が活躍できる学会を目指し、「Info-WorkPlace委員会」において女性会員のネットワーク強化、女性を呼び込むためのイベントなど活動の活性化に努めた。
- ⑥ 財務状況の見える化を図り、各事業や情報基盤整備の投資効率を意識した運営の検討をすすめた。

1.2 学生・若手研究者育成のための活動および体制強化

- ① 新世代理事を中心とする横串の組織「新世代企画委員会」活動を推進し、新世代（学生・若手研究者・若手技術者）の発想を学会運営に取り込む活動を推進した。
- ② 2012年度に導入した「学生無料トライアル会員制度（試行）」を拡充し、小学生から大学学部3年生までがオープンに入会申込できる「ジュニア会員制度」を本格導入し、若い世代の入会を促進した。また、「Exciting Coding! Junior 2016」など、数々のジュニア会員向けイベントを開催・共催した。2017年3月末現在ジュニア会員数は596名である。
- ③ 研究会や支部などの協力も得て、学生や若手研究者のためのイベントを企画開催した。また、学生や若手を対象とした賞を授与した。

1.3 調査研究活動ならびに提言活動の推進

- ① 学会のコアの活動として、研究会による諸活動を推進した。コンピュータサイエンス領域、情報環境領域、メディア知能情報領域の3領域に分けて、領域委員会を3回ずつ開催し、研究会間での情報交換を促した。
- ② 調査研究運営委員会、政策提言委員会、若手研究者の会が連携し、国の政策および方針に関する「世界最先端IT国家創造宣言」、「個人情報保護に関する法律施行規則（案）」などに関するパブリックコメント募集に対して、各専門の研究分野と連携して積極的な提言活動を行った。
- ③ 個々の研究会活動を超えて、領域または調査研究全体による活動を支援するために、調査研究活動の積立資金よりプロジェクト（期間2015年11月1日～2016年10月31日）を募集し、国際会議支援、女性

研究者支援などの5件（総額65万5千円）を採択し支援することとした。

- ④ 複数の研究会の共催による「DICOMOシンポジウム」、「インタラクション」などを開催した。

1.4 グローバル化

- ① 英文論文誌 Journal of Information Processing（以下、JIP）のインパクトファクタ取得について、再申請に向けて諸対応を検討，促進した。特にインパクトファクタを持つ他論文誌の状況を JIP 編集委員会で共有することにより今後の戦略について整理した。トランザクション CVA についてはインパクトファクタの取得の申請手続きを 2014 年度に行い結果待ちの状態であったが、Citation が下がったことから申請を一旦中断した。
- ② 査読プロセスをグローバルスタンダードに合致させつつ国際会議連携などの自由度を持つものにする必要性と、それを支える査読管理システムの重要性を踏まえ、国際的に広く使われている商用査読管理システム ScholarOne Manuscripts に完全移行すると共に ScholarOne Manuscripts におけるユーザビリティを改善した。
- ③ 研究会活動を中心に、国際会議の主催や共催を推進した。情報環境領域プロジェクトとして、ACM CHI への参加費・旅費の援助を行った。
- ④ IEEE や ACM のようなグローバルトップの国際学会を参考にしつつ、これらとの連携も含めた学会のグローバル運営戦略を検討した。
- ⑤ アジア地域の国々との連携の機会を検討し、国立暨南国際大学（台湾）でユビキタスコンピューティングシステムに関する研究発表会を行った。
- ⑥ アジアの関連学会である中国 CCF (China Computer Federation) , 韓国 KIISE (Korean Institute of Information Scientists and Engineers) との中長期的な交流に向けて意見交換や相互訪問を行った。国際会議の共催について検討を進めている。

1.5 実務家・ITエンジニア向け活動の強化

- ① 高度IT人材の資格制度である「認定情報技術者（Certified IT Professional：略称 CITP）制度」について、企業の社内資格制度を対象とする認証審査（認定情報技術者（企業認定）制度）の本運用を開始した。本年度の新たな登録者は6,339名（個人からの登録14名，認定企業からの登録6,325名），年度末時点で企業認定7社とCITP保持者6,620名となった。国際的に通用する資格となるよう，IFIP IP3の認定に向けて申請準備に着手した。
- ② ソフトウェアジャパン，デジタルプラクティス，連続セミナー・短期集中セミナー，ITフォーラムなど，各種の実務家・ITエンジニア向け活動を通じて集客に貢献した。
- ③ 情報処理推進機構（IPA），情報サービス産業協会（JISA），日本情報システム・ユーザー協会（JUAS），電子情報技術産業協会（JEITA），科学技術振興機構（JST），先端 IT 活用推進コンソーシアム（AITC）などの実務家・IT エンジニアを対象とする団体との連携をさらに深め，共同イベントの開催などを推進した。

1.6 教育活動の充実

初等中等教育，専門学校そして大学などにおける情報教育，および企業の技術者を対象とした教育プログラムの推進に向けて，以下の施策を実施した。また，文部科学省委託事業「先導的・大学改革推進委託事業（超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究）」ならびに，大阪大学からの再委託事業として文部科学省委託事業「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」の一部を受託した。

- ① 情報教育カリキュラム（試作学習指導要領を含む）の策定
- ② アク্রেディテーション（教育機関における技術者教育プログラムの認定，JABEE からの委託）

- ③ 高校教科「情報」の教員免許更新講習会の開催
- ④ 大学入試における「情報」科目提言，大学情報入試全国模擬試験実施
- ⑤ 教育シンポジウム・コンテストの運営と後援

1.7 会員サービスおよび広報の充実

- ① オンライン刊行物の新しいビジネスモデルの推進，電子図書館のサイトライセンスサービス，会誌並びにデジタルプラクティスの App Store 掲載など，新しいサービス提供形態を推進した。
- ② サイトライセンスサービスは59件（昨年度50件）と拡大しつつあり収入増に貢献した。なお，一機関あたりの論文のダウンロード数は月平均450論文程度であった。
- ③ シニア会員制度を継続して行い，今年度は40名のシニア会員を登録した。
- ④ 「読まれる学会誌」を目指し初の他学会誌との共同編集企画として，特集「人工知能学会共同企画－人工知能とは何か？」を掲載した。「会誌編集委員会女子部」，漫画「IT日和」等も連載継続してコンテンツの強化に努めた。小特集「学校まるごとわくわくプログラミング」，特集「社会を変えるブロックチェーン技術」の掲載号が好評を得て完売となった。情報処理学会公式 LINE スタンプを配布し話題となった。

1.8 学会システムの移行

現行の複数システムを集約することや業務フロー，制度の見直しをして簡略化（開発費，運用費軽減，人件費節約，マイページ作成によるサービスの向上）をすすめ，セキュリティ強化も目指す。また，新規システム構築の具体的なスケジュールを策定し，システム改版作業を始めた。業務フローの改善としては，①年会費の月割りの廃止，②同繰り越しの廃止，③個人情報管理の観点から退会者の情報保持の廃止（但し，一定期間はシステム外にて保持する。）その他，登録者の種別や登録料（年会費）の簡易化，郵送の手数料の請求などは，今後の課題である。

これらの業務改善とサービス向上の仕組みを盛り込みながらシステム全体としてのロードマップを次のように設計した。2016年度は，業務プロセスを見える化して必要の有無や修正を検討，改善を進めた。2017年度に開発と検証。2018年度稼働（新システムへ移行する）。その他，研究会および支部システムについては，本システム稼働と並行して検討し，必要な内容を移行する。

また，これまでの新査読システム「ScholarOne Manuscripts」への移行を推進し，旧システム「PRMS」のサービスは，終了した。更にCRM基盤「INPACT (Investigate Personal Activity) システム」は周辺システムとの連携，会員情報の名寄せ等の課題解消を長期的に検討することとし，試行を終了した。

2. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数 ①-②	備考：2016年度の異動内訳				
	① 2016 年度末	② 2015 年度末		入会		退会		資格 喪失
名誉会員	36	37	-1	2	正会員から異動	3		
正会員	15,397	15,699	-302	396 772	学生会員から異動	1,023 2	名誉会員に異動	445
学生会員	2,544	2,695	-151	1,351 69		770 772 1	正会員に異動 ジュニアに異動	28
ジュニア会員	596	668	-72	407 1	学生トライアルからの異動	411 69	学生会員へ異動	
個人会員 計	18,573	19,099	-526	2,998		3,051		473
賛助会員 (口数)	214 (527)	220 (527)	-6 (0)	14 (22)		20 (22)		

*2016年度期末正会員数には終身会員 538名を含む。

3. 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）

総会、理事会をはじめ、法人運営、調査研究活動、人材育成活動、事業活動、機関誌／出版活動、標準化活動、国際活動に関する各種委員会を開催した。特に、総会においては普段交流の少ない賛助会員にも学会活動に親しんでもらい、交流を深めることを目的として講演会と交流会を実施、また PC-1/40（現代の素子を使用したパラメトロンの再現）の動態展示も行った。詳細は付録1（p.19～p.33）に掲載する。

4. 実施事業1：調査研究活動（定款第4条1項1号および2号）

4.1 研究発表会、シンポジウム・講習会等 [所掌：調査研究運営委員会および各領域委員会]

40研究会、3研究グループにより活動し、研究発表会（160回）およびシンポジウム等（21回）を開催した。詳細は付録2（p.34～p.40）に掲載する。

※前年度参考：39研究会、4研究グループ、研究発表会161回、シンポジウム23回

[1] コンピュータサイエンス領域

10研究会により、研究発表会（43回）、シンポジウム等（7回）を行った。それぞれの研究会が積極的な活動を行っているが、中でも特記事項は次の通りである。

- ① データベースシステム(DBS)研究会が電子情報通信学会・日本データベース学会と共催で「第9回 Webとデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2016) (2016年9月13日～15日、慶應義塾大学)」を開催した。参加者は338名で、企業スポンサーは16社と盛況であった。
- ② 優秀な若手会員を顕彰するため、領域共通の積立金を活用して2016年度コンピュータサイエンス領域

奨励賞を17名に授与した。

[2] 情報環境領域

17研究会により、研究発表会（65回）、シンポジウム等（10回）を行った。特記事項は次の通りである。

① 領域全体の活動として、領域共通の積立金を活用したプロジェクトを募集し、学生プログラムコンテスト、国際会議支援、女性研究者支援などの5件のプロジェクト（総額65万5千円）を支援することとした。昨年度採用したプロジェクトの一部は成果報告を行い、領域の活性化に貢献したことを確認した。

② 10研究会*が合同で、ネットワークに関する研究分野を対象に、研究者間の深いディスカッションと交流の場となるよう合宿形式による「DICOMO2016シンポジウム（2016年7月6日～8日、三重）」を開催した。参加者は396名であった。

※マルチメディア通信と分散処理（DPS）、グループウェアとネットワークサービス（GN）、モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム（MBL）、コンピュータセキュリティ（CSEC）、高度交通システムとスマートコミュニティ（ITS）、ユビキタスコンピューティングシステム（UBI）、インターネットと運用技術（IOT）、コンシューマ・デバイス&システム（CDS）、セキュリティ心理学とトラスト（SPT）、デジタルコンテンツクリエーション（DCC）各研究会

③ 5研究会*が合同で「インタラクション2017シンポジウム（2017年3月2日～4日、明治大学）」を開催した。実システムのデモを通じて発表者と参加者との双方向的なコミュニケーションを重視したインタラクティブ発表などは毎年好評を博し、今回も650名を超える参加者を得て盛会であった。学生会員およびジュニア会員は参加費無料とすることで会員増にも貢献した。

※ヒューマンコンピュータインタラクション（HCI）、グループウェアとネットワークサービス（GN）、ユビキタスコンピューティングシステム（UBI）、デジタルコンテンツクリエーション（DCC）、エンタテインメントコンピューティング（EC）各研究会

[3] メディア知能情報領域

12研究会、3研究グループにより、研究発表会（52回）、シンポジウム等（4回）を行った。

① ゲーム開発者イベント「CEDEC2016（Computer Entertainment Developers Conference；8月24日～26日 パシフィコ横浜）」に連携して、エンタテインメントコンピューティング研究会が講演とパネルディスカッションを実施した。

② 複数研究会でニコニコ生放送等にて研究発表会の動画中継を行った。

③ 音楽情報科学研究会を中心に、情報学広場の論文にビデオ動画や音素材等のマルチメディアコンテンツを掲載できるよう検討し、論文誌ジャーナル5月号とエンタテインメントシンポジウム論文集に掲載した。

4.2 その他

(1) 表彰

優れた研究発表および業績等に対して、山下記念研究賞、業績賞、マイクロソフト情報学研究賞、若手奨励賞を贈呈した。付録5（p.48～p.50）に掲載する。

5. 実施事業2：人材育成（定款第4条1項4号）

初等中等教育を含む情報教育、および企業の技術者を対象とした教育プログラムの推進に向けて、以下の施策を実施した。

5.1 情報教育カリキュラムの策定 [所掌：情報処理教育委員会]

(1) 情報専門学科カリキュラム標準（J07）のフォローアップ

現行のカリキュラム標準 J07 の普及・改訂，教科書など教材の整備・提供・普及などを引き続き行い，その中で浮かび上がった課題やその対策を次期カリキュラム標準の検討に反映させた。

(2) 次期カリキュラム標準 J17 の策定にむけた作業

次期カリキュラム標準 J17 の策定を本格的に開始した。文部科学省から J17 に関する事業を受託して実施した。

(3) 初中等教育での情報教育支援

国の情報教育の方向及び内容に関して，他学協会とも連携して意見書や試作学習指導要領の作成公表などの提言を行った。また，「会員の力を社会につなげる」研究グループ(SSR)と連携して，初中等教育現場の情報分野の教員の養成支援，教材開発や出張授業などを通じて，教育現場支援をさらに推進した。

5.2 アクレディテーション（技術者教育プログラムの認定） [所掌：情報処理教育委員会]

アクレディテーションによる大学・大学院専門教育の質的向上の推進のため，日本技術者教育認定機構（JABEE）委託の認定評価を継続した。関連して，認定校・受審予定校のコミュニティの育成，専門職大学院認証評価などの活動支援を行った。また，JABEEに協力して情報専門系課程教育の質保証に努め，ソウル協定による国際水準を目指して教育改善を推進した。JABEE審査を継続審査4件，一斉審査3件，中間審査1件，予備審査1件の計9件を担当した。ソウル協定の相互認証を行なった。

5.3 認定情報技術者制度 [所掌：資格制度運営委員会，個人認証審査委員会，企業認証審査委員会]

企業の社内資格制度を対象とする認証審査（認定情報技術者（企業認定）制度）の本運用を開始した。本年度の新たな登録者は6,339名（個人からの登録14名，認定企業からの登録6,325名），年度末時点で企業認定7社とCITP保持者6,620名となった。CITPホルダーにより第11～16回のCITPコミュニティ本会議（内1回は合宿形式）が開催され，またテーマを決めた2つの分科会（社会サービス価値創造分科会，IT人材評価・育成フレームワーク分科会）が会合を持った。

資格更新に必要なCPDについても検討を進め，CPD管理システムの運用を開始した。また，国際的に通用する資格となるよう，IFIP IP3の認定に向けて申請準備を進めた。

5.4 教員免許更新講習の開催 [所掌：情報処理教育委員会]

2014年度，2015年度に実施した高校の教科「情報」に関する教員免許更新講習を引き続き実施した。東京以外に京都でも開催した。本会が講習を実施することで，「情報」に関する更新講習不足を補うとともに，高校の情報科教員の養成を支援した。

5.5 その他 [所掌：情報処理教育委員会]

(1) 教育シンポジウムならびにコンテストの運営・後援等

教育に関するシンポジウムならびにコンテストを企画運営した。高校教科「情報」に関するシンポジウムは東京と関西で開催した。また，若い世代への本会のプレゼンスの向上をめざして，大学生，高校生等を対象とするコンテストの後援（表彰活動）等を推進した。

(2) 大学入試科目に「情報」を導入するための活動

各大学における入試科目に「情報」の採用を推進する情報入試委員会および情報入試研究会，「情報」を入試科目として採用している大学，「情報」の教員等と緊密に連携して，大学情報入試の模擬試験を実施した。

(3) 学会誌への教育関連記事の掲載

会員の情報教育への関心を高め、初中等教育現場関係者の学会活動への参加を促すために、学会誌に「ぺた語義」などの教育関連連載記事を企画・編集した。

(4) 受託事業

- ① 文科省の委託事業として実施している全大学対象「情報学」教育のアンケート調査を行なった。
- ② 大阪大学から再委託を受けて文科省の「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」を進めた。

(5) 表彰, その他

- ① 優れた情報教育の実践等を顕彰するため、優秀教育賞・教材賞を贈呈した。
- ② 教材、講義素材、講義資料などのデジタルアーカイブ実現に向けて調査・検討を行った。
- ③ 教育関連の事業活動の成果を学会収益に結びつける仕組みや寄付の募集を検討した。

6. 実施事業3：学術講習会の開催（定款第4条1項1号および2号）

※各開催状況の詳細は付録2（p.40～p.42）に掲載する。

6.1 全国大会/FIT

(1) 第79回全国大会 [所掌：全国大会組織委員会]

第79回全国大会を2017年3月16～18日に名古屋大学東山キャンパスで開催した。本大会では、前回と同様に通常の一般セッション、学生セッションに加えて大会招待講演企画、大会イベント企画、展示会などのイベントを開催し、「大会イベント企画限定聴講参加（参加費無料）」の参加枠を設けた。

また、昨年に引き続き、ニコニコ動画によるメイン会場のライブ配信（来場者数：10.8万人）や、「IPSJ-ONE」,「情報系エンジニア キャリア研究セッション」（参加者延120名、出展22社）、託児所の設置、聴覚障害者向け情報保障（音声認識ツール、要約筆記（ノートテイク））を行った。講演件数は1,441件（一般セッション222件、学生セッション1,219件）、総参加者数は2,936名であった。

※前年度参考：講演件数1,456件、総参加者数3,220名

(2) 第15回情報科学技術フォーラム（FIT2016） [所掌：FIT運営委員会]

FIT2016（第15回情報科学技術フォーラム）を、2016年9月7～9日に富山大学 五福キャンパスにおいて開催した。講演件数は598件、総参加者数は1,344名であった。船井業績賞受賞者 クリプトン・フューチャー・メディア代表取締役 伊藤博之氏による受賞記念講演を実施した。また、イベント企画セッション「小直径グラフの追究」他18件を実施した。その他、次回に向けて査読論文とFIT推薦論文を廃止し選奨論文制度を策定した。また、組織の見直しを行った。

※前年度参考：講演件数590件、総参加者数1,206名

(3) 表彰 [所掌：全国大会組織委員会]

優れた発表を顕彰するため、全国大会優秀賞・奨励賞などを贈呈した。詳細は付録5（p.50）に掲載する。

6.2 セミナー/ソフトウェアジャパン/プログラミング・シンポジウム

(1) 連続セミナー2016 [所掌：セミナー推進委員会]

「イノベーション最前線：変わりゆく社会と生活へのインパクトの源流を究める」を全体テーマとし、年度内に全6回開催し、本会場（東京）延べ577名、遠隔会場（大阪）延べ137名、（全体）延べ714

名の多数の参加があった。

※前年度参考：全6回，東京／大阪延べ参加者数 773 名

(2) 短期集中セミナー [所掌：セミナー推進委員会]

年度内に，次の短期集中セミナーを開催した。

- ・「ソフトウェアテストの国際標準（ISO/IEC/IEEE 29119 シリーズ）の活用～国際標準に基づくソフトウェアテストの成長に向けて～」（7月）参加者：71名
- ・「Exciting Coding! Junior 2016：スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう！（初級コース）」（11月）参加者：14組（29名）（小学校高学年向け）
- ・「画像・音声符号化伝送技術～標準化動向最前線および開発事例～」（11月）参加者：27名
- ・「セキュリティ標準化最新動向～ISMS 今後の展望／バイオメトリクス製品のセキュリティ評価～」（2月）参加者：11名

(3) ソフトウェアジャパン 2017 [所掌：ITフォーラム推進委員会]

「データと AI が創り出す新たな価値」を学術総合センター・一橋記念講堂にて開催した。

昨年と同様に，テーマにもとづいた「メインセッション（午後開催）」を有料化，IT フォーラムならびに関連団体がそれぞれに企画をする「IT フォーラムセッション（午前開催）」は無料，という形で一日を午前と午後に切り分けて実施した。午前ビッグデータ活用実務フォーラムと基調講演のニコニコ動画配信を行い，16,412 件の来場者数があった。また，音声認識ツールによる情報保障の試行を行った。

総参加者数 767 名（メインセッション 333 名，IT フォーラムセッション 670 名，重複含む）

スポンサー：8 口，サポーター：28 口，展示：8 口

※前年度参考：参加者数 842 名，スポンサー：9 口，サポーター：32 口，2 口

(4) プログラミング・シンポジウム [所掌：事業運営委員会]

年度内に 3 回（第 58 回プログラミング・シンポジウム，夏のプログラミング・シンポジウム 2016，第 49 回情報科学若手の会）のシンポジウムを開催した。いずれも 2 泊 3 日の合宿形式で開催され，活発な議論が行われた。

6.3 ITフォーラム [所掌：ITフォーラム推進委員会]

① 2016 年度はサービスサイエンスフォーラム，コンタクトセンターフォーラム，ビッグデータ活用実務フォーラム，CITP フォーラム，ユニバーサルデザイン協創フォーラム，勉強会フォーラムの 6 つの IT フォーラムが活動を行った。各フォーラムの主な活動内容は以下のとおり。

- ・CITP：1 年で 7 回の全体コミュニティ会合を実施。2 つの分科会（IT 人材育成分科会，社会価値創造分科会）を発足。
- ・コンタクトセンター：参加メンバーによる研究アウトプットを目標として，月 1 回の研究会を継続的に開催。メンバー限定の Facebook Page，Google ドライブでの資料共有等。
- ・サービスサイエンス：月 1 回程度のミーティング，研究成果をリックテレコム社から出版「サービスの価値を高めて豊かになる」（諏訪良武著）。
- ・ビッグデータ活用実務：「マシンラーニングのら猫勉強会」を実施し，毎回定員を上回る参加がある。勉強会の成果から書籍出版も実現している。

② ソフトウェアジャパン 2017 の IT フォーラムセッションにおいて，関連団体*との連携イベントを推進した。

※情報処理推進機構（IPA），先端 IT 活用推進コンソーシアム（AITC）

6.5 AI プログラミングコンテスト [所掌：プログラミングコンテスト委員会]

- ① 学生および若手技術者の育成を目的として、世界規模の対戦型プログラミングコンテスト「Samurai Coding2016-17」を開催した(オンライン予選と決勝戦)。2月11日 AoE(日本時間 2月12日 20:59)を締切としたオンライン予選には、138チームの参加があった。
- ② 決勝戦には、国際：2チーム、国内：14チームの全16チーム20名が予選結果から選抜され、2017年3月17日(金)に名古屋大学東山キャンパスで第79回全国大会イベント企画として決勝戦を開催した。また決勝戦を全国大会参加者が自由に観覧できるようにすると同時に、懇親会には予選敗退チームも招待し、参加者およびスポンサーを含む関係者間の交流とプログラミング学習・スキル向上およびコンテストの取り組みの認知向上・広がりにも寄与するように努めた。

6.6 各支部による支部連合大会、講習会等の開催 [所掌：各支部]

支部連合大会、講習会、講演会、セミナー、国際ワークショップ等、各支部において活発に活動がなされた。詳細は、付録2(p.42)および付録5(p.51~p.52)に掲載する。

7. 実施事業4：会誌の刊行(定款第4条1項1号および2号)

※発刊状況の詳細は付録3(p.43)に掲載する。

7.1 会誌「情報処理」 [所掌：会誌編集委員会]

(1) コンテンツ

- ① 会誌「情報処理」第57巻5号から第58巻4号まで計12号(本文1,222ページ、広告65ページ、平均発行部数17,693部/号)を編集発行した。
- ② 塚本編集長のもと「読まれる学会誌」を目指して、会員サービス、および会員増という観点から編集を行い、時宜を得た特集、連載、単発記事が提供できるよう努めた。
- ③ 女性会員増への施策として女性編集委員による連載「会誌編集委員会女子部」の連載を継続した。また、会員や非会員に学会の活動内容をより知ってもらうための企画として、女子部が学会内組織の取材をする「女子部が行く！」の連載を継続した。
- ④ 学会Webとの連動企画として、昨年に引き続き9月号「研究会推薦博士論文速報」では、本誌に簡略版、Webにその詳細を掲載した。
- ⑤ 会員に気軽に会誌を開いてもらうための試みとしての連載漫画「IT日和」を継続した。
- ⑥ 会議レポートの掲載数を増やし、会員へ国内外会議の周知、また積極的な参加を呼びかけた。
- ⑦ 時事性・話題性の高い記事をスピーディに掲載する「特別解説」、著名人による「巻頭コラム」、シニアコラム「IT好き放題」、連載「古機巡礼/二進伝心」、コラム「ビブリオ・トーク-私のオススメ」、教育コーナー「ぺた語義」を引き続き掲載し、概ね好評を得た。
- ⑧ ジュニア会員向けの記事として、第57巻8号より連載「あなたの知らないプログラミングの世界～プログラミングがこんなに面白いって知っていましたか?～」を開始した。
- ⑨ 初の他学会誌との共同編集企画として、特集「人工知能学会共同企画-人工知能とは何か?」を第57巻11号に掲載した。また本特集はデジタルプラクティス28号(Vol.7 No.4)特集「人工知能の実践的活用」と連動した。
- ⑩ 小特集「学校まるごとわくわくプログラミング」、特集「社会を変えるブロックチェーン技術」を掲載した57巻12号が好評を得、月に60冊以上を売り上げ完売となった。
- ⑪ 編集委員会特別企画として、第58巻4号に情報処理学会公式LINEスタンプに関連する解説記事を掲

載、同号の付録として LINE スタンプシールを同封した。

(2) その他、広報・宣伝の充実および編集体制の改善

- ① 学会の国内外プレゼンスの向上および先進性のアピール、幅広いターゲット層へのリーチを目的として「情報処理学会公式 LINE スタンプ」を作成した。また、全国大会会場にて LINE スタンプ発売記念イベント「ポケテコンテスト」を実施した。
- ② 冊子版に掲載された広告を Web カタログとして学会 Web 上に掲載するサービスを継続した。
- ③ 学生向けの「就職情報」の掲載企業は 18 社であった。
- ④ メールニュースをより魅力的なものとするため、昨年に引き続き「理事からのメッセージ」を掲載した。
- ⑤ App Store での会誌電子版の販売を継続した。また Fujisan にて特集別刷電子版の販売を継続した。
- ⑥ 各記事のページ数を減らし、モノクロでも分かりやすい記事を掲載することで、印刷コストの削減を図った。
- ⑦ 非会員へのビジビリティ向上を目的として、日経 BP 社と連携し、会誌の中から毎月 1 記事をピックアップして抜粋した記事を 2015 年 11 月から日経テクノロジーオンラインに掲載してきたが、アクセス数が少ない為、2016 年 10 月をもって終了した。
- ⑧ IPSJ メールニュースにて、会誌・論文誌の目次配信を開始した。ニコニコ動画での販売も継続したが、2016 年度は会誌 12 件、特集 7 件の売上で極めて低調。
- ⑨ 全国大会において、会誌関連イベントを開催した。

8. 実施事業 5：論文誌・学術図書等の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）

※各発行状況の詳細は付録 3（p. 43～p. 46）に掲載する。

8.1 論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション/デジタルプラクティス）

(1) 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊） [所掌：ジャーナル編集委員会]

① 論文の充実（論文投稿数の増加に向けた取り組み）

論文誌（一般論文、特集号論文）の月刊体制を維持し、285 編（含 JIP preprint 59 編）が掲載された。招待論文を 9 編および特集号を 16 号発行した。ジャーナル/JIP 編集委員会幹事会が提案母体となる「2020 年に向けた情報処理特集号」を企画（投稿条件：第一著者が会員）し、投稿と同時に第一著者 38%の方が入会をした。

② 論文査読管理の改善

現行の査読管理システム ScholarOne Manuscripts への移行を完了し、旧 PRMS を停止した。さらに、ScholarOne Manuscripts の安定的運用のため、特集号及びジャーナル/JIP 編集委員会からの意見聴取を行い改善を完了した。エクスプレス査読の実現可能性については、他学会の状況について調査を行い、本会において投稿時点での料金徴収システムの問題が解決できるまで継続審議とした。昨年度規程を整備したマルチメディア等を含む電子付録付き論文については、原稿執筆案内の改訂を行い特集号以外での受付体制を整えた。

③ 編集体制の改善

編集委員会の簡素化、効率化と、それによって生まれる余剰時間を将来検討審議へ向けるための改善を進めた。特に、グループ主査及び副査の任期について柔軟に対応できるよう規程見直しの検討を行った。さらに、委員長及び副委員長を理事が務める現行体制についても将来的視野で検討を行った。

(2) 「Journal of Information Processing (JIP)」 [所掌：JIP 編集委員会]

年間論文採録数の目標 100 編に対して採録件数は 80 編であった。2017 年 1 月号からは年間を通して一つの号とすることで実質の月刊化を行った。2015 年 8 月からの JIP 掲載料 30%割引キャンペーンを 2017 年 7 月末まで延長することにより収支構造の変化を調査することとした。

(3) トランザクション (10 誌) [所掌：各トランザクション編集委員会]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌 (トランザクション)」10 誌を年度内に計 42 回発行した。トランザクションの掲載論文は計 151 件となった。英文トランザクション CVA は、出版社をシュプリンガーに変更完了すると共に、インパクトファクタ取得の申請中であったが、Citation が低下したため一旦申請を中断した。

(4) 実務活動の論文誌「情報処理学会デジタルプラクティス」 [所掌：デジタルプラクティス編集委員会]

- ① 論文誌「デジタルプラクティス」通巻 26 号～29 号の特集号企画と編集、投稿論文の審査・共同推敲を行った (招待論文 26 編, 特集号投稿論文 6 編, 一般投稿論文 12 編を掲載)。
- ② 26 号特集「オープンサービスイノベーション」に合わせて行った第 78 回全国大会イベントの報告記事を会誌 10 月号 (Vol. 57 No. 10) に掲載した。また、DP の特集テーマの理解の促進/実践ノウハウの共有と、DP 論文誌の認知拡大を目的としたイベントを富士通 (株) 主催、学会後援にて開催した。
- ③ 研究会、イベントからの推薦論文制度を新設し、投稿数の増加と DP 認知度向上を図った。また、ジャーナルへの投稿を勧められるよう、査読シートの改善を行った。
- ④ FIT2016 では Info-WorkPlace 委員会との共同企画としてパネル討論「ダイバーシティ社会に向けたワークプレースを考える」を行った。また、会誌と DP で連動して人工知能の特集を組むとともに会誌にて DP の特集紹介を行い、学会の様々な活動との連携を深めた。
- ⑤ DP 掲載論文から電気科学技術奨励賞 (旧オーム賞) の候補を推薦し、受賞した。
- ⑥ 二重投稿への罰則追加のため、デジタルプラクティス編集規定の改訂を行った。
- ⑦ DP の著者に、より強い動機をもってクオリティの高い論文を執筆していただくために「デジタルプラクティス論文賞」の選考を行い、ソフトウェアジャパン 2017 にて授賞式を行った。
- ⑧ 3 月全国大会で DP 企画セッション「日本の実情にマッチしたアジャイル開発に向けて」を開催した。
- ⑨ DP の課題について提起があり、目標・KPI 設定の議論の場を設けた (2017 年度も継続)。

(5) その他

各誌の優れた論文を顕彰するため、論文賞、デジタルプラクティス論文賞等を贈呈した。詳細は付録 5 (p. 48, p. 52) に掲載する。

8.2 専門誌：教科書シリーズ [所掌：出版委員会]

新しい体制で既企画のメンテナンスを中心に活動を行い、新版 1 冊、改訂 2 版を 6 冊刊行し、重版を 29 冊行なった。

8.3 歴史資料の保存・公開 [所掌：歴史特別委員会、コンピュータ博物館小委員会]

- ① 「情報処理技術遺産」8 件の関連調査と認定を行った。今年度は分散コンピュータ博物館の認定はなし。情報処理技術遺産累計：96 件、分散コンピュータ博物館累計：9 件)。詳細は付録 5 (p. 52) に掲載する。
- ② 「コンピュータ博物館」の充実を図った。
(4 月～3 月のアクセス数 511,726 件 (日英あわせて)、転載数 12 件)
- ③ オーラルヒストリー 1 件を会誌に掲載した。
- ④ 第 79 回全国大会で特別セッション「私の詩と真実」を開催した。
- ⑤ 歴史的価値のある機器の譲渡申込みへの対応など遺産の保存につながる活動を行った。

8.4 電子図書館事業の推進 [所掌：デジタルコンテンツ事業検討委員会]

- ① サイトライセンスサービスは75件の契約数を目標としたが、59件にとどまった。
- ② サービス開始から4年目となる大学向けサイトライセンスサービスは、従量制への移行方針にのっとり、サービス価格の見直しを行った。
- ③ 論文誌ジャーナル、シンポジウムにおいてマルチメディアコンテンツを含む論文公開を実施した。
- ④ 学術論文のオープンアクセス化の要望の高まりを認識し検討を開始した。

9. 実施事業6：標準化活動（定款第4条1項3号）

9.1 情報規格調査活動 [所掌：情報規格調査会]

(1) 国際標準化中心メンバーとしての貢献

昨年度から引き続き、メディア符号化（SC29）、デジタル記録媒体（SC23）、文字コード（SC2）などの重点領域の委員会議長、幹事国などの国際役職引き受けを継続するとともに、国の代表として、JTC1総会（11月リレハンメル）に出席し、審議プロセス・組織の見直し、新規標準化領域などの議論に参加した。

- ① 今年度の引き受け件数は、議長4件（20SC委員会中）、セクレタリアート5件（20SC委員会中）で昨年と変化なし。その他、コンビーナ（各SC委員会傘下のWG主査）16件（112WG中、昨年と同等）、プロジェクトエディタ108名（昨年より1名増）と昨年同様に貢献した。
- ② 重要な標準化領域に対しては新たな会員の参加を促しつつ積極的に貢献している。JTC1リレハンメル総会で新たに設立が決議された分科委員会SC41は、これまでのJTC1/WG10（Internet of Things）を中核としてJTC1/WG7 on Sensor Networksを吸収し、更にWearable Devicesを含めた専門委員会となるもので、国際として2017年6月に設置が予定されてことに伴って、国内対応委員会として2017年4月にSC41専門委員会を設置する。更にJTC1北京総会で設置された作業グループJTC1/WG11 on Smart Citiesの活動が本格的になってきたことに対応するため、国内対応委員会としてWG11小委員会を立ち上げた。また、これまでJTC1の運営に関わってきたSWG2 on Directives, SWG3 on Planning及びSWG6 on Managementを統合して設置されたJAG（JTC1 Advisory Group）に参加し、日本からの意見をインプットするとともに、日本の関係組織、賛助員企業等と情報の共有を図った。
- ③ 日本提案による国際標準化の推進としては、新業務項目（NP）の提案（承認済）1件、国際標準（IS）などの発行されたもの24件などである。
- ④ 国際会議の日本での開催：SC2/WG2, SC7/WG6 およびWG2&WG4と3件の国際会議を開催した。また、2020年の総会招致に向けて開催候補地の検討等の準備を開始した。
- ⑤ 標準化の対象が社会システムなど上位のレイヤに移るトレンドの中、JTC1が取り組むテーマがISO, IEC, 及びITU-Tと重複する傾向が進んでいる。それぞれ対応する国内標準化団体が異なるため、相互に連携を図って日本としての効率的な標準化活動を促進することが肝要となってきた。この目的のもと、まずはJTC1と連携テーマがあるITU-Tへの国内対応委員会を設置している（一社）情報通信技術委員会（TTC）との連絡会を継続して開催した。

(2) 健全な情報規格調査会の運営の維持

- ① 情報規格調査会の安定的な運営のための、新たに専門委員会を設置した際の会費の扱いや情報システムの見直し等について検討している。
- ② 国際標準化活動への参加・貢献の割合をできる限り維持することに努めた。355回の標準化国際会議への参加者は、延べ1,013人とほぼ昨年並みを維持した。

- ③ 今年度も引き続き、本部と情報規格調査会との連絡会を開催した。情報セキュリティの保持、著作権の問題、予算策定など、情報共有を図りつつ運営を推進した。

(3) 広報活動とセミナーの実施

- ① 刊行物の発行目的と対象読者を整理し、公開方法を見直した。従来、季刊誌として発行してきた「情報技術標準 NEWSLETTER」は廃刊し、会議報告は Web のみでの公開とした。また、委員会活動を広く紹介するための一般向けの広報誌としての活動報告を年1回発行することとし、本年より実施した。
- ② 情報技術標準化フォーラム(2016年5月23日):経済産業省 情報経済課 佐野 究一郎課長による「IoT, AI, ビッグデータに対する経済産業省の取組について」と、日立製作所 櫻井 義人 研究開発グループ 社会イノベーション協創統括本部 チーフアーキテクト室による「スマートシティをめぐる国際標準化の取り組み状況-ISO/IEC JTC 1/WG 11, ITU-T/SG20 を中心に」の2件の講演を実施した。
- ③ SC7「ソフトウェアテストの国際標準の活用」, SC27「セキュリティ標準化最新動向」および SC29「画像・音声符号化伝送技術」に関して有料セミナーを実施した。

(4) 表彰

標準化関連活動への貢献を顕彰するため、標準化貢献賞等を贈呈した。詳細は付録5 (p.53) に掲載する。

10. 実施事業7: 国際活動 (定款第4条1項5号および2号)

10.1 関連する海外学協会との連携・協力

(1) International Federation for Information Processing (IFIP) 活動への参加 [所掌: IFIP 委員会]

- ① IFIP 日本代表, 各 TC 日本代表の総会 General Assembly (GA) ・理事会 Council への参加
IFIP 総会 (9月16日~17日, サンホセ (コスタリカ)) に村山 IFIP 日本代表 (兼 IFIP Vice President) が参加した。
- ② 各 TC 日本代表が TC-meeting へ参加した。会誌 (3月号) への活動報告, 会議レポートの掲載のほか, メールニュース, Web を利用した情報発信を行った。
- ③ International Professional Practice Partnership (IFIP IP3) への参画 (IP3は2015年10月に正式に IFIP の組織と承認された)
- ④ Australian Computer Society (ACS) 50周年イベントに, 当会会長代理として村山 IFIP 日本代表が参加し, パネルディスカッションを行った。
演題: 「Government as an influencer of innovation, technology adoption & economic growth」
パネリスト: Hon Victor Dominello 大臣 (ニュー・サウス・ウェールズ州), Ray Long 会長 (英国 British Computer Society (BCS)), Ulandi Exner 会長 (南アフリカ共和国 Institute of IT Professionals)

(2) IEEE-Computer Society との連携・協力

- ① 2016年6月10日~14日にアメリカ合衆国ジョージア州にて開催された The 40th Annual International Computer Software & Applications Conference (COMPSAC2016) への技術協力を行った。
- ② 第79回全国大会において IEEE-CS 会長 Jean-Luc Gaudiot 氏を招聘し招待講演を行った。また, この機会に IEEE-CS と当学会の情報交換を行った。
演題 「SPARTA: A Dataflow-Inspired System Design」
- ③ アトランタで開催された IEEE-CS GOB meeting に当会会長が参加した。
- ④ 新しいサービス提供などを含めた姉妹学会 MOU を継続し, 会員向けの連携サービスを検討。

(3) 海外学協会との連携・協力

- ① China Computer Federation (CCF) と Korean Institute of Information Scientists and Engineers (KIISE) との連携・協力
 - ・7月に韓国にて3学会によるCJK Meetingを行い交流を深めた。
 - ・第79回全国大会において、CCF副会長 Ninghui SUN 氏を招聘し招待講演を行った。
演題「Research of Computer System and Architecture for Cloud Data Center」
 - ・第79回全国大会において、KIISE 会長 Bonghee HONG 氏を招聘し招待講演を行った。
演題「Looking for Image Big Data Intelligence for Disaster Management and Product Defect Detection」
- ② 他の海外学会との協力関係の継続
以下の海外学会との協力関係を継続するとともに、アジアの関連学会とは中長期的な交流に向けて意見交換や相互訪問を行った。
 - ・Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)
 - ・Association for Computing Machinery (ACM)
 - ・Computer Society of India (CSI)
- ③ The International Association for Pattern Recognition (IAPR) 活動への参加

(4) 国際会議の開催 (3件)

※開催状況の詳細は付録4 (p. 47) に掲載する。

11.1. その他：関連学協会等との連携および協力 (定款4条1項6号)

11.1 関連学協会・日本学術会議

(1) 日本工学会および電気・情報関連学会連絡協議会への参加

電気・情報関連学会連絡協議会、会長懇談会への参加など、日本工学会に参加し、関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

(2) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会との共催による「情報科学技術フォーラム (FIT)」ほか、研究発表会および学術講習会において関連学協会等と適宜共催を行った。

(3) 日本学術会議など関連団体等への協力

日本学術会議に協力学術研究団体として協力するとともに、理学・工学系学協会連絡協議会への参加、若手研究者の会を通じて、日本学術会議の若手アカデミー委員会に参加した。

11.2 会議の協賛後援等

(1) 国内会議の協賛・後援等

「平成28年電気学会 基礎・材料・共通部門大会」(一般社団法人 電気学会主催、2016年9月5日～6日開催)ほか、関連学協会等の会議の協賛・後援等131件(2017年3月現在)を行った。

(2) 国際会議の協賛・後援等

「The 5th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2017 (ICIAE2017)」(一般社団法人産業応用工学会主催、2017年3月27日～31日開催)ほか、関連学協会等の会議の協賛・後援等19件(2017年3月現在)を行った。

12. 法人運営

12.1 入会促進

(1) 新規会員の獲得と会員減の防止

会員減対策として以下の施策を実施した。正会員の減少は依然継続しており、ジュニア会員制度による入会も伸び悩み、今年度の個人会員合計は残念ながら526名の減少となった。

- ① ジュニア会員制度を推進し若い世代の入会促進に努めた。
- ② 各活動において学会の価値向上策に取り組むとともに、理事を中心に、新規会員の勧誘および退会防止に努めた。
- ③ 連続セミナー・ソフトウェアジャパンの開催、デジタルプラクティスのApp Storeへの掲載など実務家・ITエンジニアに向けた活動を推進した。また、関連イベントの非会員参加者が入会する際、連続セミナー、短期集中セミナーについては入会金を免除するよう対応し1名の入会があった。更に入会費用無料の施策により本年度の入会者は、Samurai Codingファイナリストは5名、第78回全国大会での非会員講演参加者は25名、CITP認定者は16名であった。
- ④ 入会手順変更に伴い入会会費は1ヶ月以内に納入をお願いしている。新規入会者の利便性向上のため、従来のオンラインクレジット決済に加え、オンラインコンビニエンスストア決済も可能にした。
- ⑤ 産業界に属する会員への学会価値向上に向けて検討を行った。

(2) 学生会員ならびにジュニア会員の獲得と育成

- ① ジュニア会員制度を通じて若年層に学会活動を広く周知し、学生会員育成活動を推進した。
- ② 研究会ならびに支部の協力により新規学生会員の獲得活動を実施し、学生会員の正会員への移行・定着の施策として1研究会への無料登録を継続した。
- ③ 支部で実施しているイベントにおいてジュニア会員制度のPRを実施し、入会を促した。また、学生・若手向けセミナーの企画開催など、学生会員の新規獲得と正会員への定着率の向上に努めた。
- ④ 学会ホームページ上でのジュニア会員向けコンテンツの拡充を実施し入会メリットの訴求に努めた。

12.2 政策提言活動の推進

情報処理に対する一般社会の価値認識を高めるとともに、学会の存在感の向上を図り、国および関連機関から「頼られ&相談される学会」を目指して政策提言活動の強化を図った。情報系の各種パブコメに対しては以下(2)のとおり6件の意見を提出した。また、総務省が創設する「サイバーセキュリティ」に関する表彰制度への協力、3省(文科省・経産省・総務省)「人工知能の研究開発目標と産業化のロードマップ」への協力を行った。

(1) 若手研究者の会の運営

若手研究者の連携強化・活動の活性化、および日本学術会議の同様の活動の受皿となること等を目的として、若手研究者の会の活動を継続し、若手からの意見収集と運営への反映に努めた。

(2) 情報系の各種パブコメへの積極的対応

2016年度中に次の意見を公開した。

- ・「世界最先端IT国家創造宣言」に対する意見(2016年4月)
- ・「科学研究費助成事業(科研費)審査システム改革2018」に対する意見(2016年5月)
- ・「IoTセキュリティガイドライン(案)」に対する意見(2016年6月)
- ・「個人情報の保護に関する法律施行規則(案)」に対する意見(2016年8月)
- ・「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に対する意見(2016年10月)

- ・「学校教育法施行規則の一部を改正する省令案並びに幼稚園教育要領案、小学校学習指導要領案及び中学校学習指導要領案」に対する意見（2017年3月）

12.3 震災復興関連の取り組み

2016年4月に起きた熊本地震により被災に遭われた会員の方々へ2016年度会費の免除（申請）を実施した。

12.4 運営体制の充実・改善等

(1) 新世代発想の学会運営への取り組み

- ① 学会イベントのニコニコ動画配信を推進し、全国大会、ソフトウェアジャパン等で多くの視聴者を集めた。
- ② 第77回全国大会から開始したIPJSJ-ONEを引き続き第79回全国大会で開催した。
- ③ 学会価値向上のために、ITフォーラムの下に、論文読み会などの資料共有を目的とした「勉強会フォーラム」を設立し、コンテンツを拡充した。
- ④ 学会イベント受付のオンライン化の試行を行った。
- ⑤ 学会イベント支援として公式チャットシステムを導入して運用を開始した。
- ⑥ ジュニア会員ページをより魅力的にリニューアルした。申し込みページを改訂し、ジュニア会員向けWebサイト紹介を掲載した。
- ⑦ 企業向けに研究者を紹介する「研究マッチング（試行サービス）」を実施した。

(2) 寄付の募集

個人及び企業の皆様に幅広く寄付の御願いをした。

(3) 長期的ビジョンの継続体制の確立

長期戦略理事を中心に、学会の魅力・価値の向上を目指して中長期的な視点から中長期戦略の策定をすすめた。策定にあたっては、分野・項目毎の目標と指標を明示し、計画を具体化することに努めた。また、短期的には各事業の諸施策の着実な実施を推進した。

(4) 中長期計画を踏まえた運営改善

「魅力ある学会」に向け、学会活動に関する中長期計画を踏まえつつ、第三者機関であるアドバイザーボードミーティングを2016年7月に開催し、ボードメンバーからの助言を実施事業の企画および運営の改善に役立てた。

(5) 広報活動の推進・諸活動のデータ収集

- ① 学会Webの充実の他、Facebook、TwitterならびにApp Storeへの会誌とデジタルプラクティスの掲載、情報処理学会公式ニコニコチャンネルなどソーシャルメディアを活用した積極的な広報活動を推進した。
- ② 各種行事等の場での入会促進および学会紹介、IPJSJメールニュースの内容充実を図った。
- ③ 会員の入退会、大会・セミナー等への投稿・申込み状況、会誌等のモニタ会員による評価など、関連データの収集・分析を継続し諸活動の評価・改善に努めた。

(6) 会員サービスの充実に向けた学会情報システムの見直し

今年度は、学会システム開発の具体的なスケジュールと開発先の選定を行った。2018年度を目標に稼働させる。合わせて今後の会員サービス拡充に向けてアウトソース部分や研究会・支部システムを含めて詳細を詰めていく。マイページの検討を行うとともに学会のセキュリティポリシーを見直し等に着手した。業務プロセスの改善としては、年会費の月割りの廃止と同繰り越しの廃止を決定し2016年度から実施した。引き続き業務プロセスの改善、効率化を行う。

(7) 2015 年度監事付帯意見への対応

2015 年度監事付帯意見（2016 年 6 月開催の第 609 回理事会に監事が提出）について、改善策の検討ならびに学会運営および中長期計画への反映などの対応を実施し、結果を 617 回理事会（2017 年 4 月）で報告した。監事付帯意見は、学会長期戦略の策定、学会価値の再定義、学会の国際化、全国大会と FIT の運営、学会情報システムの再構築の 5 項目から成り、比較的早期に対応可能な FIT 運営等について改革を進めた他、他のすべての項目についても対応方法を検討し、長期的な戦略が必要なものについては継続的な検討を進めることとした。

(8) 著作権関連 [所掌：著作権委員会]

研究報告に対する著作権侵害の訴えがあり 2012 年から対応していたが、2016 年 8 月に最高裁の判決が確定し終了した。

(9) 参加しやすい総会を目指した取り組み [所掌：総務財務運営委員会]

普段交流の少ない賛助会員にも学会活動に親しんでもらうことを目指し、2016 年 6 月の総会において産業界の注目の高い FinTech や IoT に関する講演会や交流会の実施、PC-1/40（現代の素子を使用したパラメトロン再現）の動態展示を行い 45 社のご参加を頂いた。また、歴代会長の懇談会を行い、学会に関する意見交換を行った。

(10) 女性会員増への取り組み [所掌：Info-WorkPlace 委員会]

4 月に Info-WorkPlace 委員会が正式発足し、活動を開始した。本委員会の目的を「女性会員数の増加」と「女性会員（女子学生、女性技術者・研究者など）のネットワーク構築」と決め、初年度には以下の施策を行った。

① 女性会員のネットワーク構築

・Web サイト「COPINE（コピーヌ）」立ち上げ、SNS での情報発信、メーリングリストの作成

② イベント、ワークショップ等の企画

- ・2016 年 8 月「女子中高生夏の学校 2016」共催（独立行政法人国立女性教育会館主催）
- ・2016 年 9 月 FIT2016「ダイバーシティ社会に向けたワークプレースを考える」への参加
- ・2016 年 11 月「電子工作でクリスマス飾りを作ろう会 Vol.2」共催（enPiT 女性部会 WiT 主催）
- ・2017 年 3 月 第 79 回全国大会「Life Hacks for WorkPlace」イベント企画
- ・内閣府男女共同参画：理工チャレンジ応援団体への参加

③ 会誌「情報処理」に掲載された会誌編集委員会女子部のコラムをまとめた冊子を作成し、各種イベントで配布した。

④ デジタルプラクティスの招待論文として「情報処理学会におけるダイバーシティ推進—Info-WorkPlace 委員会の取組—」を執筆し、本会の認知度向上に努めた。

12.5 その他表彰等

(1) 顕彰、名誉会員・フェローの選定など

功績賞、学会活動貢献賞の贈呈のほか、フェロー認定、情報処理技術遺産認定を行った。詳細は付録 5 (p. 48, p. 51) に掲載する。

(2) 事務局職員

事務局常勤職員の年度末在籍者は 29 名（本部 22 名、規格 7 名、前年末は 30 名）である。

以上

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年4月期開催会議 [総務] 2. 2016年度第2回企画政策委員会議事録 [企画] 3. 第18回・19回新世代企画委員会議事録 [総務] 4. 第1回Info-WorkPlace 委員会議事録 [総務] 5. 第7回日本学術振興会育志賞の推薦について [総務] 6. 「世界最先端IT国家創造宣言」パブコメ提出 [総務] 7. 「科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018」パブコメ提出 [総務] 8. 第55回学会システムWG 議事録 [総務] 9. 学会システムMonthly 統計資料（2016年4月分） [総務] 10. 第427回論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会（幹事会）議事録（抜粋） [論文誌] 11. 第29回セミナー推進委員会議事録 [技術応用] 12. 第72回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [技術応用] 13. 第10回情報科学技術推進委員会／第14回FIT運営委員会（通算59回）議事録 [事業] 14. 2016年度第1回情報処理教育委員会議事録 [教育] 15. 2015年度技術者教育プログラム認定審査収支報告書 [教育] 16. 第331回規格役員会議事録 [標準化] 	<p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>第609回理事会 2016年6月3日</p> <p>議長：富田達夫（会長）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名 出席理事数：23名</p>	<p><承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロソフト情報学研究賞の創設について [総務] 2. 表彰規程・喜安記念業績賞候補者選定手続の改訂ならびマイクロソフト情報学研究賞選定手続の制定について [総務] 3. 会費の徴収および会誌の配布に関する細則の改訂案について [総務] 4. 「Enjoy! Let' s make a greeting card :-）～紙の上でつくる電子工作体験～」共催について [総務] 5. 教科書IT-Text の一部を放送大学の教材として提供することについて [会誌] <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査研究積立資産について [総務] 2. 新規賛助会員獲得代行の提案について [総務] <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法令・定款による理事の職務執行状況報告（3月～5月） [総務] 2. ジュニア会員の入会動向報告 [総務] 3. 期末会計監査結果報告書：詳細（監査法人） [総務] 4. 2015年度監事監査付帯意見 [企画] 5. 新世代企画委員会の2015年度の振り返り [総務] 6. 第208回会誌編集委員会議事録＋モニタ評価ほか [会誌] 7. 会誌広告状況（2016年5月現在） [会誌] 8. ジャーナル・JIP 特集・トランザクション発行状況 [論文誌] 9. デジタルプラクティス：ダウンロード数・特集リスト [技術応用] <p>参. 理事会アクションアイテムリスト</p>	<p>承認 承認</p> <p>承認 承認</p> <p>承認</p> <p>再検討 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>第610回理事会 2016年6月3日</p> <p>議長：富田達夫（会長）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名 出席理事数：23名</p>	<p><承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表理事（副会長）および業務執行理事の選定 	<p>承認</p>
<p>第611回理事会 2016年6月24日</p> <p>議長：富田達夫（会長）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名 出席理事数：22名</p>	<p><承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規賛助会員獲得代行の提案について（案） [総務] 2. オンラインコンビニ決済について [総務] 3. 人事委員会の設置と次期事務局長の引継期間（案） [総務] 4. JIP掲載料割引キャンペーンの継続について [論文誌] 5. IWSEC2017国際会議開催申請書 [調査研究] 6. 「デジタルプラクティス編集規定」の改訂について [技術応用] 7. 2015年度認定情報技術者企業認定承認依頼 [技術応用] 8. FIT運営委員会の規程改訂について [事業] 9. FIT2017以降の査読見直し／その後の選奨方法について [事業] 10. 大学入学者選抜改革推進委託事業について [教育] <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画政策委員会関係 [企画] <ol style="list-style-type: none"> (1) 学会価値の向上 (2) 会員増／監事付帯意見／中長期戦略への対応（依頼） <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度会員状況（2016年6月現在） [総務] 2. 第147回・148回総務財務運営委員会議事録 [総務] 3. 2016年度第3回企画政策委員会議事録 [企画] 	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>承認 依頼</p> <p>確認 確認 確認</p>

	<p>4. アドバイザリーボードメンバー確認と説明資料 [企画] 5. 第209回会誌編集委員会議事録・特集ほか [会誌] 6. 会誌広告状況 (2016年6月現在) [会誌] 7. ジャーナル・JIP特集/トランザクション発行状況 [論文誌] 8. デジタルプラクティス: 特集リスト・ダウンロード数 [技術応用] 参. 理事会アクションアイテムリスト</p>	<p>確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>決議の省略・報告の省略 2016年6月30日 (監事確認日)</p> <p>議決可能理事数: 全議案とも27名</p>	<p><法令および定款により理事会決議があったものとする事項> 1. 2016年6月の新規入会申請 [総務] 2. シンポジウム等の開催願い [調査研究] 3. 委員長の交代について [技術応用] 4. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業] 5. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業] 6. 情報規格調査会委員の変更 [標準化]</p> <p><法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2016年5月期開催会議 [総務] 2. 2016年4, 5月次損益管理表 [財務] 3. 第56回学会システムWG 議事録 [総務] 4. 学会システムMonthly 統計資料 (2016年5月分) [総務] 5. 「IoTセキュリティガイドライン (案)」パブコメ提出 [総務] 6. 第101回歴史特別委員会議事録 [会誌] 7. 第428回論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会 (幹事会) 議事録 (抜粋) [論文誌] 8. 第21回トランザクション編集委員会議事録 [論文誌] 9. 第30回セミナー推進委員会議事録 [技術応用] 10. 第73回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [技術応用] 11. 第19回・20回資格制度運営委員会議事録 [技術応用] 12. 第24回個人認証審査委員会議事録 [技術応用] 13. 第19回・20回・21回企業認定審査委員会議事録 [技術応用] 14. 第1回IP3認定取得準備WG議事録 [技術応用] 15. 第1回第79回全国大会プログラム委員会議事録 [事業] 16. 第41回プログラミングコンテスト委員会議事録 [事業] 17. 2016年度第2回情報処理教育委員会議事録 [教育] 18. 第333回規格役員会議事録 [標準化]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>第612回理事会 2016年7月27日</p> <p>議長: 富田達夫 (会長)</p> <p>議決可能理事数: 全議案とも27名 出席理事数: 24名</p>	<p><承認事項> 1. 正会員の年会費改訂に伴う臨時総会の招集について (案) [総務] 2. 臨時総会の招集に伴う「一般規則の改訂案 (改訂箇所抜粋)」および改訂説明資料「正会員の年会費改訂について (案)」ご承認のお願い [総務] 3. 頭功賞候補者の推薦について [総務] 4. 第78回全国大会大会優秀賞・大会奨励賞受賞候補者 [事業]</p> <p><審議事項> (該当無し)</p> <p><報告事項> 1. 第149回総務財務運営委員会議事録 [総務] 2. 2016年度第4回企画政策委員会議事録 [企画] 3. 第210回会誌編集委員会議事録・特集ほか [会誌] 4. 会誌広告状況 (2016年7月現在) [会誌] 5. 卓越研究データベース覚書の締結について [会誌] 6. ジャーナル・JIP特集/トランザクション発行状況 [論文誌] 7. デジタルプラクティス: 特集リスト・ダウンロード数 [技術応用] 参. 理事会アクションアイテムリスト</p>	<p>承認 承認</p> <p>承認 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>決議の省略・報告の省略 2016年7月28日 (監事確認日)</p> <p>議決可能理事数: 全議案とも27名</p>	<p><法令および定款により理事会決議があったものとする事項> 1. 2016年7月の新規入会申請 [総務] 2. シンポジウム等の開催願い [調査研究] 3. 2016年度山下記念研究賞受賞候補者一覧 [調査研究] 4. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業] 5. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業] 6. 情報処理教育委員会規程改訂について [教育] 7. 情報規格調査会委員の変更 [標準化]</p> <p><法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2016年6月期開催会議 [総務] 2. 2016年6月次損益管理表 [財務] 3. 平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について [総務] 4. 2016年度情報処理学会フェロー選定手順の日程・フェロー選定委員 [総務] 5. 第20回新世代企画委員会議事録 [総務] 6. 第57回学会システムWG議事録 [総務]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 7. 第16回デジタルコンテンツ事業検討委員会議事録〔総務〕 8. 情報学広場でのシンポジウム予稿に対する動画メディア付録について〔総務〕 9. 学会システムMonthly統計資料（2016年6月分）〔総務〕 10. 第74回 調査研究運営委員会議事録〔調査研究〕 11. 第429回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会（幹事会）議事録（抜粋）〔論文誌〕 12. 第21回資格制度運営委員会議事録〔技術応用〕 13. 第25回個人認証審査委員会議事録〔技術応用〕 14. 第22回企業認定審査委員会議事録〔技術応用〕 15. 第2回IP3認定取得準備WG議事録〔技術応用〕 16. 第334回規格役員会議事録〔標準化〕 	<p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>決議の省略・報告の省略 2016年8月25日（監事確認日）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名</p>	<p><法令および定款により理事会決議があったものとする事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 2016年8月の新規入会申請〔総務〕 2. 国内会議の協賛・後援等依頼〔事業〕 3. 国際会議の協賛・後援等依頼〔事業〕 <p><法令および定款により理事会報告があったものとする事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 2016年7月期開催会議〔総務〕 2. 2016年7月月次損益管理表〔財務〕 3. 2017年度役員・代表会員選挙日程〔総務〕 4. 第5期アドバイザリーボード（第1回）議事録〔企画〕 5. 第21回新世代企画委員会議事録〔総務〕 6. 第58回学会システムWG 議事録〔総務〕 7. 学会システムMonthly 統計資料（2016年6月分）〔総務〕 8. 会誌広告状況（2016年8月現在）〔会誌〕 9. 第55回情報処理学会教科書編集委員会議事録〔会誌〕 10. 各領域委員会報告議事録抜粋〔調査研究〕 11. 第13回技術応用運営委員会/第14回ソフトウェアジャパンプログラム委員会 第10回ソフトウェアジャパン実行委員会合同委員会議事録〔技術応用〕 12. 第15回ソフトウェアジャパンプログラム委員会議事録〔技術応用〕 13. 第31回セミナー推進委員会議事録〔技術応用〕 14. 短期集中セミナー「ソフトウェアテストの国際標準（ISO/IEC/IEEE 29119 シリーズ）の活用～国際標準に基づくソフトウェアテストの成長に向けて～」 開催報告〔技術応用〕 15. 第75回デジタルプラクティス編集委員会議事録〔技術応用〕 16. 第22回資格制度運営委員会議事録〔技術応用〕 17. 第26回個人認証審査委員会議事録〔技術応用〕 18. 第3回IP3認定取得準備WG 議事録〔技術応用〕 	<p>承認 承認 承認</p> <p>確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認</p>
<p>第613回理事会 2015年9月27日</p> <p>議長：富田達夫（会長）</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名 出席理事数：24名</p>	<p><承認事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 学会公認LINEスタンプに関する付録について〔会誌〕 2. 2016年度シニア会員申請者の承認について〔総務〕 3. ワークショップ「電子工作でクリスマス飾りを作ろう会 Vol.2」共催について （お願い）〔総務〕 4. 出版事業提案書〔会誌〕 5. 2016年度「ソフトウェアジャパンアワード」について〔技術応用〕 6. 平成28年度戦略的国際標準化加速事業「クラウドサービスパートナーのための 情報セキュリティ管理策の実践規範国際標準化」契約締結について〔標準化〕 7. 平成28年度戦略的国際標準化加速事業「IoT環境におけるセキュリティ向上のための 軽量暗号技術の国際標準化」契約締結について〔標準化〕 8. 情報規格調査会規程実施細則の変更〔標準化〕 <p><審議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 2015年度監事付帯意見への対応状況〔企画〕 <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 法令・定款による理事の職務執行状況報告（6月～8月）〔総務〕 2. 2016年度会員状況（2015年9月現在）※9月Web理事会提出〔総務〕 3. 第150回総務財務運営委員会議事録〔総務〕 4. 調査研究積立資産について〔総務〕 5. 臨時総務財務運営委員会議事録（調査研究積立資産について）〔総務/調査研究〕 6. 2016年度第5回企画政策委員会議事録〔企画〕 7. 第2回Info-WorkPlace委員会議事録〔総務〕 8. 会員増施策進捗状況報告〔企画〕 9. 中長期戦略について〔企画〕 10. 第211回会誌編集委員会議事録・特集ほか〔会誌〕 11. 会誌広告状況（2016年9月現在）〔会誌〕 12. 就職情報案内の付録掲載について〔会誌〕 13. 著作権侵害に対する裁判の最終報告〔会誌〕 14. ジャーナル・JIP特集／トランザクション発行状況〔論文誌〕 	<p>承認 承認 承認</p> <p>承認 承認 承認</p> <p>承認 承認</p> <p>依頼</p> <p>確認 確認 確認 継続審議 確認 確認 確認 確認 依頼 依頼 確認 確認 確認 確認</p>

	<ul style="list-style-type: none">15. デジタルプラクティス：特集リスト・ダウンロード数 [技術応用]16. 第64回電気科学技術奨励賞の結果報告 [技術応用]17. SamurAI Coding2016-17開催趣意書 [事業]18. 平成28年度「先導的・革新大学改革推進委託事業」について [教育]参. 理事会アクションアイテムリスト	確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2016年9月29日 (監事確認日) 議決可能理事数：全議案とも27名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> <ul style="list-style-type: none">1. 2016年9月の新規入会申請 [総務]2. 2017年度代表会員理事会推薦候補者 (1次案) について [総務]3. シンポジウム等の開催願い／終了報告 [調査研究]4. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業]5. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業] <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> <ul style="list-style-type: none">1. 2016年8月期開催会議 [総務]2. 2016年8月月次損益管理表 [財務]3. 2016年度功績賞ならびに顕功賞・業績賞選定手続きについて [総務]4. 「個人情報の保護に関する法律施行規則 (案)」パブコメ提出 [総務]5. 第22回新世代企画委員会議事録 [総務]6. 第59回学会システムWG議事録 [総務]7. 学会システムMonthly統計資料 (2016年8月分) [総務]8. 第102回歴史特別委員会議事録 [会誌]9. 第75回調査研究運営委員会議事録 [調査研究]10. 第430回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会 (幹事会) 議事録 (抜粋) [論文誌]11. 第11回ソフウエアジャパン実行委員会議事録 [技術応用]12. 第23回資格制度運営委員会議事録 [技術応用]13. 第27回個人認証審査委員会議事録 [技術応用]14. 第23回企業認定審査委員会議事録 [技術応用]15. 第4回IP3認定取得準備WG議事録 [技術応用]16. 第79回全国大会第2回プログラム委員会議事録 [事業]17. 第42回プログラミングコンテスト委員会議事録 [事業]	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
決議の省略・報告の省略 2016年10月20日 (監事確認日) 議決可能理事数：全議案とも27名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> <ul style="list-style-type: none">1. 2016年10月の新規入会申請 [総務]2. 「終身会員制度に関する規程」の改訂案について [総務]3. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業]4. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業] <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> <ul style="list-style-type: none">1. 2016年9月期開催会議 [総務]2. 2016年9月月次損益管理表 [総務]3. 期中会計監査結果報告 (2016年9月) [総務]4. 2016年度支部長会議議事録 [総務]5. 2017年度役員候補者推薦状況報告 [総務]6. 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」パブコメ提出 [総務]7. 学会システムMonthly統計資料 (2016年9月分) [総務]8. 大学向けサイトライセンス価格の見直し [総務]9. 2016年10月広告収入状況 [会誌]10. 第103回歴史特別委員会議事録 [会誌]11. 第76回調査研究運営委員会議事録 [調査研究]12. 各領域委員会報告 (議事録抜粋) [調査研究]13. 2017年度研究会登録費の算定について [調査研究]14. 研究会の継続について [調査研究]15. 研究会の開催に関する覚書改訂について [調査研究]16. 第431回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会 (幹事会) 議事録抜粋 [論文誌]17. 第28回個人認証審査委員会議事録 [技術応用]18. 第24回企業認定審査委員会議事録 [技術応用]19. 第5回IP3認定取得準備WG議事録 [技術応用]20. 第76回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [技術応用]21. 全国大会組織委員会議事録 [事業]22. FIT2017船井業績賞選定委員会議事メモ [事業]23. 第43回プログラミングコンテスト委員会議事録 [事業]24. 第335回規格役員会議事録 [標準化]	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
決議の省略・報告の省略 2016年11月25日 (監事確認日) 議決可能理事数：全議案とも27名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> <ul style="list-style-type: none">1. 2016年11月の新規入会申請 [総務]2. シンポジウム等の開催願い／終了報告 [調査研究]3. 2016年度第1回CITP個人認証合格者承認依頼 [技術応用]4. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業]	承認 承認 承認 承認

	<p>5. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業]</p> <p><法令および定款により理事会報告があったものとする事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年10月期開催会議 [総務] 2. 2016年10月月次損益管理表 [財務] 3. 第23回新世代企画委員会議事録 [総務] 4. 第60回学会システムWG議事録 [総務] 5. 学会システムMonthly統計資料 (2016年10月分) [総務] 6. 第3回Info-WorkPlace委員会議事録 [総務] 7. 2017年度研究会登録費の算定について [調査研究] 8. 第30回IFIP委員会議事録 [調査研究] 9. 第432回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会 (幹事会) 議事録抜粋 [論文誌] 10. Journal of Information Processing (JIP) のNo. 廃止について [論文誌] 11. 第32回セミナー推進委員会議事録 [技術応用] 12. 第77回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [技術応用] 13. 第29回個人認証審査委員会議事録 [技術応用] 14. 第25回企業認定審査委員会議事録 [技術応用] 15. 第12回情報科学技術推進委員会/第16回FIT運営委員会 (通算61回) 議事録 [事業] 16. 第44回プログラミングコンテスト委員会議事録 [事業] 17. 第336回規格役員会議事録 [標準化] 	承認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認
<p>第614回理事会 2016年11月29日</p> <p>議長：富田達夫 (会長)</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名 出席理事数：21名</p>	<p><承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2017年度理事会推薦役員候補者立候補依頼順位 [総務] 2. 事務局人件費について [総務] 3. 次期事務局長の採用について [総務] 4. 昇格者の特典見直しについて [企画] 5. ジュニア会員モニタへの会誌送付について [会誌] 6. 2016年度情報処理技術遺産認定候補リスト [会誌] 7. CPD管理システム利用に関する契約の承認依頼 [技術応用] 8. 高度な情報技術者の育成・可視化および情報系プロフェッショナルコミュニティの形成に関する覚書 (改定案) について [技術応用] 9. 平成28年度技術者教育プログラム認定審査業務契約書 [教育] 10. 情報技術の国際標準化に関する委員会 (IoT・Smart Cities) の新規設置に関するプレスリリースについて [標準化] <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画政策委員会関係 [企画] <ol style="list-style-type: none"> (1) 12月役員検討会のテーマ・次第 (2) 2015年度監事付帯意見への対応状況 (3) 理事による個別会員勧誘状況 (4) 会員増施策の進捗状況 2. 2017年度予算編成方針/2017年度事業計画・予算・2016年度事業報告提出依頼 [総務・財務] <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 月次損益管理 (2016年10月) [財務] 2. 新名誉会員・学会活動貢献賞ほか：推薦のお願い [総務] 3. 第151・152回総務財務運営委員会議事録 [総務] 4. 2016年度第6・7回企画政策委員会議事録 [企画] 5. 第212~214回会誌編集委員会議事録、会誌モニタ評価・特集一覧等 [会誌] 6. 会誌広告状況 (2016年11月現在) [会誌] 7. ジャーナル・JIP特集/トランザクション発行状況 [論文誌] 8. デジタルプラクティス：特集リスト・ダウンロード数 [技術応用] <p>参. 理事会アクションアイテムリスト</p>	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
<p>決議の省略・報告の省略 2016年12月21日 (監事確認日)</p> <p>議決可能理事数：全議案とも27名</p>	<p><法令および定款により理事会決議があったものとする事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年12月の新規入会申請 [総務] 2. 育児・介護休業法の改正に伴う育児休業等に関する規則・介護休業等に関する規則の改訂について [総務] 3. 賃金規則改訂について [総務] 4. シンポジウム等の開催願い/終了報告 [調査研究] 5. 2016年デジタルプラクティス論文賞について [技術応用] 6. デジタルプラクティス編集規程の改訂について [技術応用] 7. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業] 8. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業] 9. 文部科学省大学入学者選抜改革推進受託事業 「情報学的アプローチによる『情報科』大学入学者選抜における評価手法の研究開発」 シンポジウム開催願い [教育] <p><法令および定款により理事会報告があったものとする事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年11月期開催会議 [総務] 2. 2016年11月月次損益管理表 [財務] 3. 第153回総務財務運営委員会議事録 [総務] 	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

	6. 会員増施策の進捗状況 [企画] 7. 第215・216回会誌編集委員会議事録、会誌モニタ評価・特集一覧等 [会誌] 8. 会誌広告状況 (2017年1月現在) [会誌] 9. LINEスタンプシール案 [会誌] 10. ジャーナル・JIP特集ノトランザクション発行状況 [論文誌] 11. デジタルプラクティス：特集リスト・ダウンロード数 [技術応用] 参. 理事会アクションアイテムリスト	確認 確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2017年3月1日 (監事確認日) 議決可能理事数：全議案とも27名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> 1. 2017年2月の新規入会申請 [総務] 2. 2016年度情報処理学会フェロー候補者の選定について [総務] 3. シンポジウム等の終了報告 [調査研究] 4. 2016年度第2回CITP個人認証合格者承認依頼 [技術応用] 5. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業] <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2017年1月期開催会議 [総務] 2. 2017年1月月次損益管理表 [財務] 3. 第155回総務財務運営委員会議事録 [総務] 4. 2016年度第10回企画政策委員会議事録 [企画] 5. 第4回Info-WorkPlace委員会議事録 [総務] 6. 学会システムMonthly統計資料 (2017年1月分) [総務] 7. 会誌広告状況 (2017年2月) [会誌] 8. 2016年度第2回論文賞選定委員会 (ジャーナル) 議事録 [論文誌] 9. 第434・435回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会 (幹事会) 議事録抜粋 [論文誌] 10. 第34回セミナー推進委員会議事録 [技術応用] 11. 第80回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [技術応用] 12. 第26・27回資格制度運営委員会議事録 [技術応用] 13. 第29回企業認定審査委員会議事録 [技術応用] 14. 第58回プログラミング・シンポジウム開催報告 [事業] 15. 第340回規格役員会議事録 [標準化]	承認 承認 承認 承認 承認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2017年3月24日 (監事確認日) 議決可能理事数：全議案とも27名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> 1. 2017年3月の新規入会申請 [総務] 2. シンポジウム等の開催願い／終了報告 [調査研究] 3. 領域委員会財務委員の交代について [調査研究] 4. 研究会主査・幹事の交代について [調査研究] 5. 2016年度論文賞について [論文誌] 6. 国内会議の協賛・後援等依頼 [事業] 7. 国際会議の協賛・後援等依頼 [事業] 8. 情報規格調査会委員の変更 [標準化] <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2017年2月期開催会議 [総務] 2. 感謝状の贈呈について [総務] 3. 第27回新世代企画委員会議事録 [総務] 4. 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令案並びに幼稚園教育要領案、小学校学習指導要領案及び中学校学習指導要領案」パブコメ提出 [総務] 5. 第63回学会システムWG議事録 [総務] 6. 学会システムMonthly統計資料 (2017年2月分) [総務] 7. 各領域委員会報告 (議事録抜粋) [調査研究] 8. 「共同利用・共同研究拠点申請」に向けた要望書提出について [調査研究] 9. 第436回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会 (幹事会) 議事録 (抜粋) [論文誌] 10. 第15回技術応用運営委員会／第11回ITフォーラム推進委員会合同委員会議事録 [技術応用] 11. 第35回セミナー推進委員会議事録 [技術応用] 12. 連続セミナー2016アンケート総合集計結果 [技術応用] 13. 第81回デジタルプラクティス編集委員会議事録 [技術応用] 14. 第28回資格制度運営委員会議事録 [技術応用] 15. 第13回情報科学技術推進委員会／第17回FIT運営委員会 (通算62回) [事業] 16. 第1回FIT2017プログラム委員会議事録 [事業] 17. 第48回プログラミングコンテスト委員会議事録 [事業] 18. 2016年度第4～6回情報処理教育委員会議事録 [教育] 19. 第341回規格役員会議事録 [標準化]	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第616回理事会 2017年3月29日 議長：富田達夫 (会長)	<承認事項> 1. 2016年度功績賞の選定 [総務] 2. 2016年度業績賞について [総務] 3. 公益目的支出計画の完了年月日の変更申請について [総務] 4. 委員長等の任期延長 (DP・教科書・歴史) [各担当]	承認 承認 承認 承認

議決可能理事数：全議案とも27名 出席理事数：23名	5. 2017年度会誌編集委員会名簿 [会誌]	承認
	6. ICMU2014国際会議終了報告書 [調査研究]	承認
	7. ICMU2015国際会議終了報告書 [調査研究]	承認
	8. ICMU2017国際会議開催申請書 [調査研究]	承認
	9. 連続セミナー2017企画案 [技術応用]	承認
	10. CITP制度のIP3認定取得に当たっての人材育成積立資産取り崩しのお願ひ[技術応用]	承認
	11. 高等学校教科「情報」の英文表記について[教育]	承認
	12. スーパーコンピューティングコンテストへの共催申請および 寄付の扱い・運用要項（案）について[教育]	承認
	13. 2016年度優秀教育賞ならびに優秀教材賞受賞者選定報告[教育]	承認
	14. 委員会設置のお願ひ（教員免許更新講習委員会）[教育]	承認
	<審議事項>	
	1. 企画政策委員会関係 [企画]	継続検討
	(1) 中長期戦略の検討状況（提言書目次案）	確認
	(2) 会員増施策の状況	確認
	(3) 2015年度監事付帯意見への対応状況：最終確認	
	2. 事業計画・予算ほか	承認
	(1) 2017年度事業計画（2次）・2016年度報告（3月現在） [各理事]	承認
	(2) 2017年度予算（2次）・2016年度決算見込（3月現在） [財務]	
	<報告事項>	
	1. 2017年度役員・代表会員選挙結果 [総務]	確認
2. 定時総会までのスケジュール（総会招集について） [総務]	確認	
3. 法令・定款による理事の職務執行状況（12月～2月） [総務]	確認	
4. 第156回総務財務運営委員会議事録 [総務]	確認	
5. 2016年度第11回企画政策委員会議事録 [企画]	確認	
6. 2016年度ジュニア会員入会動向報告 [総務]	確認	
7. 「人工知能の研究開発目標と産業化のロードマップ」に関する意見交換会」議事録 [総務]	確認	
8. CJK Meeting 議事録 [総務]	確認	
9. 第217・218回会誌編集委員会議事録、会誌モニタ評価・特集一覧等 [会誌]	確認	
10. 会誌広告状況（2017年3月現在） [会誌]	確認	
11. 情報処理学会公式LINEスタンプリリースに関するご報告 [会誌]	確認	
12. ジャーナル・JIP・トランザクション発行状況 [論文誌]	確認	
13. 2016年度技術応用活動（ソフトウェアジャパン2017）終了報告 [技術応用]	確認	
14. 「ソフトウェアジャパン2017」アンケート[技術応用]	確認	
15. 2016年度ITフォーラム活動報告[技術応用]	確認	
16. デジタルプラクティス：特集リスト・アクセス件数[技術応用]	確認	
17. 2016年度CITP個人認証資格更新者報告[技術応用]	確認	
18. CITP認定者への無料入会権配布について（報告）[技術応用]	確認	
参. 理事会アクションアイテムリスト	確認	

■各種委員会

※委員は6月以降の構成を掲載（以下、同）

◎委員長・主査、○副委員長・財務委員、幹事・副査、△担当理事（担務）、*オブザーバ、アドバイザー委員

1. 法人運営

1.1 企画政策委員会

◎/△前田 章、○/△東野輝夫、稲村 浩、中川八穂子、鈴木 浩、今岡 仁、深澤紀子、佐藤真一、関口智嗣、後藤厚宏、河口信夫、寺田 努、北村操代

[4月19日、5月17日、6月20日、7月14日、9月2日、10月24日、11月21日、12月12日、'17年1月20日、2月22日、3月22日]

アドバイザーリーボード対応/中長期戦略に関する検討/会員サービスに関する検討ほか

1.1.1 学会システムWG

◎鈴木 浩、赤池洋俊、石井 旬、岩岸 正明、大森久美子、鳥居 悟、中津佳彦、森 良哉

[6月17日、7月13日、8月4日、9月15日、10月24日、11月16日、12月22日、'17年2月17日、3月22日]

学会管理システムに関する検討対応

1.2 政策提言委員会

◎/△東野輝夫、○/△深澤紀子、○/△佐藤真一、稲村 浩、鈴木 浩、関口智嗣、後藤厚宏、小林 稔、角谷和俊、徳永健伸

[電子メールベース] パブコメ対応 ほか

1.3 総務財務運営委員会

◎/△前田 章、○/△稲村 浩、○/△鈴木 浩、△中川八穂子、△今岡 仁、△関口智嗣、△後藤厚宏

[4月21日、5月25日、6月20日、7月14日、9月2日、9月14日、10月24日、11月21日、12月12日、'17年1月20日、2月22日、3月22日]

総会関連事項/損益状況/その他運営上の諸課題の検討対応

1.3.1 本部・規格連絡会

◎/△前田 章、○/△伊藤 智、○今岡 仁、○松本隆明、稲村 浩、中川八穂子、鈴木 浩、櫻井義人、成井良久、河合和哉、福田昭一、本庄利守

[6月13日、6月24日、6月30日、12月5日] 本部・規格調査会間の連絡

1.4 電子化委員会（学会システムWGの設置により休眠）

1.4.1 セキュリティ委員会

◎菊池浩明、△稲村 浩、大谷和子、岡本栄司、佐々木良一、寺田真敏、鳥居 悟、△中川八穂子、丸山 宏

[電子メールベース] 情報セキュリティに関する諸対応

1.5 新世代対応企画委員会

◎河口信夫、○寺田 努、石塚宏紀、△稲村 浩、△大場みち子、加藤真吾、加藤由花、五味悠一郎、△後藤厚宏、△小林 稔、坂本一憲、首藤一幸、△鈴木 浩、△関口智嗣、辻田 眸、土井裕介、△那須川哲哉、米澤拓郎

[6月30日、7月20日、9月2日、10月24日、11月21日、12月12日、'17年1月20日、2月22日、3月22日]

新世代（学生・若手研究者・若手技術者）の発想を学会運営に取り込むための施策を検討、実施

1.5.1 若手研究者の会（幹事会）

◎河口信夫、野田夏子、近藤正章、越前 功、大内一成、関嶋政和、高岡詠子、後藤 真、*小林 稔、*角谷和俊、*徳永健伸

[電子メールベース] ほか

1.6 支部長会議

◎/△富田達夫、△前田章、△東野輝夫、△稲村浩、△鈴木浩、△中川八穂子、△今岡 仁、各支部長：小野哲雄（北海道）、菅沼拓夫（東北）、奥水大和（東海）、松本三千人（北陸）、安本慶一（関西）、谷口秀夫（中国）、横山和俊（四国）、中嶋卓雄（九州）

[9月27日、12月22日（役員検討会）] 本部-支部の意見交換

1.7 アドバイザリーボード

◎有信睦弘、舟橋千鶴子、藤本真樹、森 正弥、小山 透、金寺 登、富田眞治、澁谷裕以、牛田圭一、大竹 暁

[7月19日] 第三者的な見地からの情報処理学会の運営に関する助言

2. 調査研究活動

2.1 調査研究運営委員会

◎/△小林 稔、○/△角谷和俊、○/△徳永健伸、串田高幸、倉本 到、佐藤真一、並木美太郎、屋代智之

開催年月日	主な議事事項	会議結果
2016年4月1日	1. 2016年度領域委員長・財務委員について 1. 2015年度活動状況/2016年度計画 2. 中長期戦略/会員増施策/事業報告/事業計画	確認 確認 確認
2016年6月24日	1. 2016年度委員構成確認 2. 2017年度調査研究活動への学会補助額について 3. 2017年度共通費の賦課について 4. 2017年度シンポジウム事務諸費について 5. 調査研究への管理割掛について 6. 情報保障の実施について	確認 承認⇒ 各領域・研究会に報告 承認 承認 継続審議 確認
2016年8月29日	1. 調査研究への管理割掛について 2. 研究会の開催に関する覚書の改定について	継続審議 確認⇒ 著作権委員会に報告
2016年10月5日	1. 2017年度研究会登録費算定方法 3. 研究会の継続 2. 調査研究積立資産について	承認⇒ 理事会報告 承認・確認⇒ 理事会報告 継続審議
2017年3月21日	1. 情報保障への補助について 2. 2017年度領域委員長・財務委員について 3. 2016年度活動状況/2017年度計画 4. 中長期戦略/会員増施策/事業報告/事業計画	審議 確認 確認 確認

2.2 コンピュータサイエンス領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

◎/△角谷和俊、○並木美太郎、鶴林尚靖、五島正裕、庄野 逸、田浦健次朗、浜口清治、廣津登志夫、堀山貴史、森嶋厚行、横川三津夫、堀山 貴史

2016年7月12日	領域共通-1. 2016年度山下記念研究賞 領域共通-2. 2017年度調査研究活動への学会補助額について 領域共通-3. 2017年度共通費の賦課について 領域共通-4. 2017年度シンポジウム事務諸費について 領域共通-5. 調査研究への管理割掛について 領域共通-6. 2015年度調査研究活動状況および決算報告	選定⇒ 理事会提案 承認 承認 承認 継続審議 確認
2016年9月27日	領域共通-1. 研究会の継続 領域共通-2. 2017年度研究会登録費算定方法 領域共通-3. 調査研究積立資産について 領域共通-4. 2016年度活動状況	承認⇒ 調査研究運営委員会へ提案/報告 確認・承認 確認 確認
2017年2月21日	領域共通-1. 2017年度領域委員長・財務委員について 領域共通-2. 2016年度活動状況/2017年度計画 領域共通-3. 中長期戦略/会員増施策/事業報告/事業計画	確認・承認 確認 確認

2.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

◎/△小林 稔、○屋代智之、市村 哲、稲村 浩、大内一成、川村春美、清原良三、栗山 繁、河野恭之、児玉公信、重野 寛、竹林洋一、寺島美昭、鳥居 悟、中挾知延子、藤井 敦、松浦幹太、水野慎士、山井成良

[7月1日、9月28日、'17年2月27日] コンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

2.4 メディア知能情報領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

◎/△徳永健伸、○倉本 到、伊藤毅志、乾健太郎、梶田将司、金子 格、川村秀憲、北原鉄朗、関嶋政和、西田知博、長谷川晶一、平賀瑠美、松村 敦、峯松信明、向川康博

[7月21日、9月26日、'17年2月24日] コンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

3. 人材育成活動

3.1 資格制度運営委員会 ※傘下のWGは掲載略

◎芝田 晃、折原良平、掛下哲郎、寛 捷彦、北村操代、鈴木 浩、玉井哲雄、那須川哲哉、西 直樹、林 雅弘、吉野松樹、旭 寛治

[4月15日、6月2日、6月30日、8月1日、9月6日、10月17日、12月19日、1月31日、2月20日、3月22日]

認定情報技術者制度の検討

3.2 情報処理教育委員会（教育賞選定委員会を兼ねる） ※傘下の委員会は掲載略

◎萩谷昌己、○佐渡一広、○辰己丈夫、△松原 仁、△高岡詠子、石畑 清、稲垣知宏、井上克郎、上松恵理子、大岩 元、岡部 忠、角田博保、掛下哲郎、寛 捷彦、金寺 登、兼 宗進、久野 靖、児玉公信、駒谷昇一、斎藤俊則、清水尚彦、高橋尚子、辻 秀一、富澤真樹、中山泰一、長尾和彦、植原啓介、鷺崎弘宜、和田 勉、*神沼靖子、*寺田真敏、*西田知博

[4月12日、5月24日、7月6日、9月20日、10月26日、11月28日、'17年1月25日、3月23日]

JABEE対応/J17準備/情報学分野の参照基準/次期学習指導要領改訂/免許更新講習/傘下の小委員会報告ほか

4. 事業活動

4.1 事業運営委員会

◎/△大場みち子、○/△長谷川輝之、角谷和俊

[電子メールベース] 全国大会、FIT、その他イベントの運営推進

4.2 全国大会組織委員会 ※プログラム委員会、現地実行委員会は掲載略

◎/△東野輝雄、○/△大場みち子、△長谷川輝之、小林 稔、間瀬健二

[10月3日、ほか電子メールベース] 全国大会の運営・開催推進

4.3 FIT運営委員会 ※情報科学技術推進委員会・幹事会・実行委員会・プログラム委員会は掲載略

◎坂井修一、○前田 章、△大場みち子、△長谷川輝之、秋山達勇、天野英晴、小林 稔、斎藤英雄、竹内勇剛、武安政明、徳永健伸、中村裕一、東野輝夫、浜田宏一、山崎俊彦、吉田 寛

[5月18日、7月4日、11月8日、2月24日ほか電子メールベース] FITの運営・開催推進

4.4 プログラミング・シンポジウム幹事会 ※運営委員会は掲載略

◎岩崎 英哉、浅野 智之、上田 真史、馬谷 誠二、大日向 大地、対馬 かなえ、山田 浩史

[[6月6日、10月14日、12月14日、2月23日] 夏のプロシン/若手の会/冬のプロシンの開催推進

4.5 プログラミングコンテスト委員会

◎鷺崎弘宜、○平石 拓、*近山 隆、△大場みち子、深澤紀子、坂本一憲、高田真吾、竹内郁雄、田中哲朗、吉野松樹、鈴木浩、三輪 誠

[4月1日、6月15日、8月10日、9月12日、10月21日、11月25日、12月22日、1月18日、2月16日]

プログラミングコンテストの開催推進

4.6 技術応用運営委員会

◎寺中勝美、○前田 章、○△那須川哲哉、○△北村操代、中川八穂子、今岡 仁、佐藤真一、吉野松樹、旭 寛治、芝田 晃

[6月24日、11月29日、3月7日、ほか電子メールベース] 技術応用活動全体の調整・推進

4.7 ITプロフェッショナル委員会（高度IT資格関連WGの活動により休眠）

4.8 セミナー推進委員会

◎△那須川哲哉、○△北村操代、齋藤正史、浦本直彦、中野美由紀、菊池浩明、杉田由美子、平手勇宇、平山敏弘、海老澤竜、福島俊一

[4月22日、6月14日、7月28日、9月1日、10月11日、11月7日、1月24日、2月17日、3月23日] 連続セミナー・短期セミナーの開催推進

4.9 ITフォーラム推進委員会 ※ソフトウェアジャパン関連委員会は掲載略

◎△那須川哲哉、○△北村操代、諏訪良武、碓川友宏、宮崎義文、石井一夫、平林元明、河口信夫

[3月7日、電子メールベース] ITフォーラム・ソフトウェアジャパンの運営推進

5. 会誌

5.1 会誌編集委員会

◎塚本昌彦、△加藤由花、△鳥澤健太郎、五十嵐悠紀、池谷彰彦、金岡 晃、酒井洋平、佐藤史子、末永俊一郎、田名部元成、辻田 暉、鶴岡慶雅、土井千章、永野秀尚、坊農真弓、松崎公紀、村上知子、茂木和彦、高橋ひとみ、坂東宏和、金子 格、菅谷みどり、長野 徹

[4月8日、5月6日、6月2日、7月1日、8月2日、9月1日、10月5日、11月9日、12月1日、1月11日、2月9日、3月2日]

全回共通：会誌の編集刊行

6. 機関誌／出版活動

6.1 学会論文誌運営委員会

◎/△山名早人、△小林 稔、△柴山悦哉、△角谷和俊、△徳永健伸

[電子メールベース] 論文誌全体に関する諸課題の対応

6.2 JIP編集委員会（幹事会）

◎岡部寿男、△相澤彰子、△山名早人、ほか「6.3 ジャーナル編集委員会（幹事会）」メンバ

*Adam KOZYNIAK、*Mamadou Tadiou KONÉ、*Monica CARLY、*Raymond WAN、*Robert DELANEY、*Sylvain KAMDEM
[海外編集委員] Audun JOSANG（ノルウェー）、Galton PU（アメリカ）、Hee-Kap AHN（韓国）、Jeffrey Xu YU（香港）、
Jungsuk SONG（韓国）、Kunsoo PARK（韓国）、M.M. Hafizur Rahman（マレーシア）、Rémi COULOM（フランス）、
Seiji ISOTANI（ブラジル）、Winston SEAH（ニュージーランド）、Won-Gyu LEE（韓国）、Xiaofang ZHOU（オーストラリア）

[4月5日、5月16-17日、6月2日、7月5日、9月6日、10月4日、11月1日、12月1日、'17年1月10日、2月9日、3月3日]

全回共通：JIPの編集刊行

6.3 論文誌ジャーナル編集委員会（幹事会）

◎/△山名早人、○/△柴山悦哉、立石孝彰、浅井信吉、田中勇樹、重安哲也、沖野浩二、島岡政基、藤田桂英、関野 樹、松島裕康、
豊浦正広、竹田尚彦、藤本敬介

[4月5日、5月16-17日、6月2日、7月5日、9月6日、10月4日、11月1日、12月1日、'17年1月10日、2月9日、3月3日]

全回共通：論文誌ジャーナルの編集刊行

6.4 トランザクション編集会議

◎/△山名早人、追川修一、岡田謙一、岡部寿男、北 栄輔、木俣 豊、田浦健次朗、竹中要一、竹村治雄、戸川 望、野本忠司、
森嶋厚行、八木康史

[6月20日、11月20日] トランザクションの編集刊行に関する諸課題の対応

6.5 デジタルプラクティス編集委員会

◎吉野松樹、○茂木 強、△那須川哲哉、△北村操代、伊藤 智、位野木万里、浦本直彦、海老原吉晶、鬼塚 真、上條浩一、
斎藤 忍、齋藤正史、颯々野学、澤谷由里子、澤邊知子、柴崎辰彦、住田一男、平井千秋、福島俊一、富士 仁、藤瀬哲朗、
藤原陽子、峯松信明 *喜連川優

[4月26日、5月26日、6月27日、8月3日、9月28日、10月27日、11月24日、12月20日、1月27日、2月22日、3月27日]

全回共通：デジタルプラクティスの編集刊行

6.6 デジタルコンテンツ事業検討委員会

◎/△東野 輝夫、△稲村 浩、安達 淳、△大場みち子、△加藤 由花、△鈴木 浩、水野 慎士、△徳永 健伸、
△那須川哲哉、△山名 早人

[7月14日] デジタルコンテンツ事業の推進

6.7 出版委員会

6.7.1 教科書編集委員会

◎阪田史郎、○菊池浩明、△加藤由花、△鳥澤健太郎、井戸上彰、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、辰己丈夫、田名部元成、
平山雅之、山本里枝子

[6月29日、9月26日、12月8日] 教科書シリーズの刊行に関する検討

6.8 歴史特別委員会（傘下の小委員会は掲載略）

◎発田 弘、○旭 寛治、△加藤由花、△鳥澤健太郎、宇田 理、浦城恒雄、久門耕一、橋爪宏達、前島正裕、松永俊雄

[4月20日、6月13日、8月29日、9月26日、12月5日]

コンピュータに関する歴史の公開推進、情報処理技術遺産等の認定ほか

6.9 著作権委員会

◎△加藤由花、○△鳥澤健太郎、天野真家、大谷和子、小林 稔、柴山悦哉、杉本重雄、鈴木 浩、角谷和俊、徳永健伸、那須川哲哉、
山名早人

[電子メールベース] 知的財産権専門委員推薦、その他著作権に関する対応

7. 標準化活動

7.1 情報規格調査会（規格役員会）

◎/△伊藤 智、○河合和哉、○松本隆明、△今岡 仁、伊藤雅樹、落合真一、成井良久、福田昭一、本庄利守、*加藤 誠司

[4月11日、5月16日、6月13日、7月4日、9月12日、10月17日、11月21日、12月19日、'16年1月16日、2月6日、3月6日]

規格賛助員の入退会等／委員変更／国際会議派遣・招致／月次決算／JTC1総会対応／標準化関連受託対応ほか

8. 国際活動

8.1 IFIP委員会

☆村山 優子（IFIP日本代表）、◎/△小林 稔、○/△角谷和俊、○/△徳永健伸、小林直樹、胡 振江、齋藤俊則、中野 冠、相田 仁、亀田壽夫、内木哲也、小向太郎、金川信康、栗原 聡、北村喜文、星野准一、芝田 晃

[11月30日] IFIP年次総会報告／各TCの活動報告ほか。

9. 上記以外の委員会および委員は次サイトを参照

<http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/meibo/2016/2016meibo.html>

付2. 研究会および研究発表・学術講習会等一覧

【研究会等の詳細】

研究会等の名称（ ）内：英略称、*：研究グループ	主査名（運営委員数）	登録者数
【コンピュータサイエンス領域】		
データベースシステム（DBS）	森嶋厚行（47）	464
ソフトウェア工学（SE）	鶴林尚靖（50）	499
システム・アーキテクチャ（ARC）	五島正裕（25）	318
システムソフトウェアとオペレーティング・システム（OS）	廣津登志夫（32）	283
システムとLSIの設計技術（SLDM）	濱口清治（29）	254
ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）	横川三津夫（35）	518
プログラミング（PRO）	田浦健次朗（36）	335
アルゴリズム（AL）	堀山貴史（23）	205
数理モデル化と問題解決（MPS）	庄野 逸（30）	293
組込みシステム（EMB）	渡辺晴美（32）	270
【情報環境領域】		
マルチメディア通信と分散処理（DPS）	重野 寛（46）	356
ヒューマンコンピュータインタラクション（HCI）	河野恭之（38）	518
コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学（CG）	栗山 繁（28）	294
情報システムと社会環境（IS）	児玉公信（21）	186
情報基礎とアクセス技術（IFAT）	藤井 敦（16）	153
オーディオビジュアル複合情報処理（AVM）	川村春美（12）	65
グループウェアとネットワークサービス（GN）	市村 哲（32）	226
ドキュメントコミュニケーション（DC）	中挾知延子（13）	82
モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム（MBL）	稲村 浩（43）	312
コンピュータセキュリティ（CSEC）	鳥居 悟（44）	550
高度交通システムとスマートコミュニティ（ITS）	清原良三（27）	166
ユビキタスコンピューティングシステム（UBI）	大内一成（31）	277
インターネットと運用技術（IOT）	山井成良（43）	413
セキュリティ心理学とトラスト（SPT）	松浦幹太（20）	86
コンシューマ・デバイス&システム（CDS）	寺島美昭（38）	200
デジタルコンテンツクリエイション（DCC）	水野慎士（21）	106
高齢社会デザイン（ASD）	竹林洋一（32）	108
【メディア知能情報領域】		
自然言語処理（NL）	乾健太郎（31）	460
知能システム（IGS）	川村秀憲（5）	227
コンピュータビジョンとイメージメディア（CVIM）	向川康博（59）	596
コンピュータと教育（CE）	西田知博（51）	533
人文科学とコンピュータ（CH）	松村 敦（25）	218
音楽情報科学（MUS）	北原鉄朗（29）	347
音声言語情報処理（SLP）	峯松信明（25）	226
電子化知的財産・社会基盤（EIP）	金子 格（18）	109
ゲーム情報学（GI）	伊藤毅志（27）	235
エンタテインメントコンピューティング（EC）	長谷川晶一（25）	196
バイオ情報学（BIO）	関嶋政和（15）	125
教育学習支援情報システム（CLE）	梶田将司（21）	195
アクセシビリティ（AAC）	平賀瑠美（17）	49
*ネットワーク生態学（NE）	林 幸雄（--）	---
*会員の力を社会につなげる（SSR）	筧 捷彦（--）	---
*情報処理に関する法的問題（LIP）	高岡詠子（--）	---

1. 研究発表会（調査研究活動分）

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回次	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体、その他備考
第163回	2016年9月13日～15日	慶應義塾大学	21	318	
第164回	2017年1月17日	筑波大学東京キャンパス文京校舎	11	19	

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第192回	2016年6月2日～3日	東海大学高輪キャンパス	17	37	
第193回	2016年7月13日～15日	北海道立道民活動センター	27	31	電子情報通信学会
第194回	2016年11月17日～18日	長良川国際会議場	11	30	
第195回	2017年3月12日～13日	早稲田大学	32	73	

1.1.3 システム・アーキテクチャ研究発表会

第212回	2016年5月9日～10日	宇奈月 杉乃井ホール	13	13	電子情報通信学会
第213回	2016年8月8日～10日	キッセイ文化ホール	45	164	電子情報通信学会
第214回	2016年10月6日	幕張メッセ国際会議場	14	15	電子情報通信学会
第215回	2016年11月28日～30日	立命館大学いばらきキャンパス	11	116	電子情報通信学会
第216回	2017年1月23日～25日	慶應義塾大学日吉キャンパス	38	116	電子情報通信学会
第217回	2017年3月9日～10日	具志川農村環境改善センター	68	132	電子情報通信学会

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第137回	2016年5月30日～31日	ルネッサリゾート オキナワ	14	35	
第138回	2016年8月8日～9日	キッセイ文化ホール	20	53	
第139回	2017年3月1日～2日	アクリ福岡	17	45	

1.1.5 システムとLSIの設計技術研究発表会

第176回	2016年5月11日	北九州国際会議場	11	36	電子情報通信学会
第177回	2016年11月28日～30日	立命館大学いばらきキャンパス	27	11	電子情報通信学会
第178回	2017年1月23日～25日	慶應義塾大学日吉キャンパス	38	103	電子情報通信学会
第179回	2017年3月9日～10日	具志川農村環境改善センター	68	124	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第154回	2016年4月25日	海洋研究開発機構 横浜研究所	12	58	
第155回	2016年8月8日～10日	キッセイ文化ホール	47	157	
第156回	2016年9月15日～16日	小樽経済センター	16	48	
第157回	2016年12月21日～22日	沖縄産業支援センター	19	45	
第158回	2017年3月8日～10日	大月ホール和風館	34	92	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第109回	2016年6月9日～10日	浜松市福祉交流センター	10	29	
第110回	2016年8月10日	キッセイ文化ホール	7	32	
第111回	2016年10月26日～27日	日本IBM	11	45	
第112回	2017年1月10日～11日	ているる	5	18	
第113回	2017年3月3日～4日	東京大学本郷キャンパス	12	35	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第158回	2016年6月24日～25日	石川県教育会館	20	52	電子情報通信学会
第159回	2016年9月23日	徳島大学	7	15	
第160回	2016年11月24日～25日	神戸情報大学院大学	22	17	電子情報通信学会
第161回	2017年1月17日	アイ・かわて 県民情報交流センター	9	15	
第162回	2017年3月13日～14日	湯布院公民館	5	14	併催：人工知能学会

1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第108回	2016年7月4日～6日	沖縄科学技術大学院大学	49	40	電子情報通信学会
第109回	2016年7月25日	Monte Carlo	12	16	
第110回	2016年9月16日	奈良女子大学	10	29	
第111回	2016年12月12日	電気通信大学	26	51	
第112回	2017年2月27日～28日	繋温泉 清温荘	27	46	

1.1.10 組み込みシステム研究発表会

第41回	2016年6月2日～3日	東海大学 高輪キャンパス	17	32	
第42回	2016年8月25日	下呂温泉 水明館	4	30	SWEST(組み込みシステム技術に関するサマワーショップ)
第43回	2016年11月11日	九州大学 伊都キャンパス	7	13	
第44回	2017年3月9日～10日	具志川農村環境改善センター	68	126	電子情報通信学会

1.2 情報環境領域

1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第167回	2016年5月26日～27日	沖縄産業支援センター	33	36	電子情報通信学会
第168回	2016年11月17日～18日	長崎歴史文化博物館	16	19	
第169回	2017年1月19日～20日	リッツ勝浦	12	25	
第170回	2017年3月2日～3日	神奈川工科大学	35	26	

1.2.2 ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会

第168回	2016年6月2日～3日	岩手県立大学	20	35	電子情報通信学会
第169回	2016年8月29日～30日	源平荘	15	33	
第170回	2016年10月24日～25日	筑波大学 筑波キャンパス	12	31	
第171回	2017年1月23日～24日	大濱信泉記念館	35	60	
第172回	2017年3月6日～7日	八洲学園大学キャンパス	27	67	

1.2.3 コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会

第163回	2016年9月5日～6日	宇奈月温泉杉乃井軒	10	21	
第164回	2016年9月21日	(株)スクウェア・エニックス本社	15	33	CG-ARTS協会
第165回	2016年11月9日～10日	九州大学	24	34	
第166回	2017年3月13日～14日	紀尾井町	18	45	

1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第136回	2016年6月11日	國學院大学	9	25	
第137回	2016年8月25日～26日	はこだて未来大	13	26	
第138回	2016年12月3日	法政大学 小金井キャンパス	15	31	
第139回	2017年3月3日～4日	東京電機大学 東京千住キャンパス	6	17	

1.2.5 情報基礎とアクセス技術研究発表会

第123回	2016年9月13日～15日	慶應義塾大学	21	273	
第124回	2017年2月9日～10日	大阪TOG会議室	17	57	電子情報通信学会
第125回	2017年3月10日	東海大学 高輪キャンパス	11	9	
第126回	2017年3月30日	国立情報学研究所	4	15	

1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第93回	2016年8月8日～9日	九州工業大学	17	8	映像情報メディア学会/電子情報通信学会
第94回	2016年9月1日～2日	大阪電気通信大学	13	32	電子情報通信学会
第95回	2016年12月8日～9日	石川県地場産業振興センター	23	28	映像情報メディア学会/電子情報通信学会
第96回	2017年2月24日	沖縄セルラー電話	5	9	

1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第99回	2016年5月12日～13日	東京大学駒場IIキャンパス	24	82	電子情報通信学会
第100回	2017年1月20日～21日	土庄町総合会館(フレトピアホール)	49	26	
第101回	2017年3月10日～11日	玉川大学	29	52	

1.2.8 ドキュメントコミュニケーション研究発表会

第102回	2016年7月15日～16日	広島RCC文化センター	11	5	電子情報通信学会
第103回	2016年11月18日	コム本社コムホール	6	23	
第104回	2017年3月10日	東海大学 高輪キャンパス	11	20	

1.2.9 モバイルコンピューティングとパーベシブシステム研究発表会

第79回	2016年5月26日～27日	沖縄産業支援センター	33	43	電子情報通信学会
第80回	2016年8月24日～25日	芝浦工業大学豊洲キャンパス	21	31	
第81回	2016年12月7日～8日	石川県政記念しいのき迎賓館	28	27	
第82回	2017年3月9日～10日	東京大学 本郷キャンパス	56	41	電子情報通信学会

1.2.10 コンピュータセキュリティ研究発表会

第73回	2016年5月26日～27日	とりぎん文化会館	26	74	電子情報通信学会
第74回	2016年7月14日～15日	中市コミュニティホールNaC	39	111	電子情報通信学会
第75回	2016年12月1日～2日	公立はこだて未来大学	7	30	デジタル・フォレンジック研究会 日本セキュリティ・マネジメント学会
第76回	2017年3月2日～3日	神奈川工科大学	35	67	

1.2.11 高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会

第65回	2016年5月26日～27日	神奈川工科大学 横浜キャンパス	33	23	電子情報通信学会
第66回	2016年9月14日	稚内北星学園大学	16	16	電子情報通信学会/電気学会
第67回	2016年12月7日～8日	愛知工業大学 八千草キャンパス	28	29	
第68回	2017年2月28日～3月1日	はこだて未来大学	15	22	

1.2.12 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第50回	2016年5月28日～29日	台湾 国立暨南国際大学	18	35	
第51回	2016年8月4日～5日	パナソニック・ワンダーランド 大阪	15	35	
第52回	2016年10月24日～25日	筑波大学 筑波キャンパス	12	27	
第53回	2017年3月9日～10日	東京大学 本郷キャンパス	57	60	電子情報通信学会

1.2.13 インターネットと運用技術研究発表会

第33回	2016年5月26日～27日	とりぎん文化会館	26	58	電子情報通信学会
第34回	2016年6月25日	京都工芸繊維大学	12	93	
第35回	2016年9月23日～24日	静岡大学浜松キャンパス	17	41	
第36回	2017年3月3日～4日	カルチャーリゾートフェストネ	40	45	電子情報通信学会

1.2.14 セキュリティ心理学とトラスト研究発表会

第18回	2016年5月12日～13日	東京大学駒場IIキャンパス	24	72	電子情報通信学会
第19回	2016年7月14日～15日	中市コミュニティホールNaC	39	127	電子情報通信学会
第20回	2016年9月23日～24日	静岡大学 浜松キャンパス	17	12	
第21回	2016年11月17日～18日	長崎歴史文化博物館	16	16	
第22回	2017年3月13日～14日	長崎県立大学シーポート校	35	12	電子情報通信学会

1.2.15 コンシューマ・デバイス&システム研究発表会

第16回	2016年6月2日～3日	富士通デジタルトランスフォーメーションセンター	20	64	
第17回	2016年8月24日～25日	芝浦工業大学 豊洲キャンパス	21	42	
第18回	2017年1月20日～21日	土庄町総合会館(フレックホール)	49	46	

1.2.16 デジタルコンテンツクリエーション研究発表会

第13回	2016年5月30日～31日	金沢工業大学	12	14	
第14回	2016年11月9日～10日	九州大学	24	34	
第15回	2017年1月20日～21日	土庄町総合会館(フレックホール)	49	22	

1.2.17 高齢社会デザイン研究発表会

第5回	2016年8月4日～5日	パナソニック・ワンダーランド 大阪	15	37	
第6回	2016年11月12日	東京大学 本郷キャンパス	9	27	
第7回	2017年2月17日	静岡大学 浜松キャンパス	7	30	

1.3 メディア知能情報領域

1.3.1 自然言語処理研究発表会

第226回	2016年5月16日～17日	東京工業大学	16	72	
第227回	2016年7月29日～30日	岡山県立大学	17	51	
第228回	2016年9月29日～30日	大阪大学	12	42	
第229回	2016年12月21日～22日	NTT武蔵野ホール	25	84	電子情報通信学会
第230回	2017年3月5日	東京工業大学大 岡山キャンパス	6	223	

1.3.2 知能システム研究発表会

第184回	2016年8月5日～6日	国際高等セミナーハウス	6	10	
第185回	2016年12月13日	名古屋工業大学	16	22	
第186回	2017年3月2日～5日	ルッソリゾートホテル	10	23	連続開催：人工知能学会、電子情報通信学会
第187回	2017年3月29日	東京大学 本郷キャンパス	3	5	

1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第202回	2016年5月12日～13日	立命館大学	44	82	
第203回	2016年9月5日～6日	富山大学	49	172	電子情報通信学会
第204回	2016年11月9日～10日	九州大学	24	62	
第205回	2017年1月19日～20日	京都大学 百周年時計台記念館	58	81	電子情報通信学会/ハーナルリアリティ学会
第206回	2017年3月9日～10日	国立情報学研究所	17	83	

1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第135回	2016年7月2日	信州大学	13	43	
第136回	2016年10月15日～16日	青山学院大学	17	60	
第137回	2016年12月3日～4日	長崎県立大学	11	31	
第138回	2017年2月11日～12日	大阪電気通信大学 駅前キャンパス	19	91	
第139回	2017年3月11日～12日	津田塾大学	24	80	

1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第110回	2016年5月14日	筑波大学	11	101	情報知識学会
第111回	2016年7月30日	長崎県五島市福江文化会館	10	23	
第112回	2016年10月29日	同志社大学	9	35	
第113回	2017年2月4日	愛知工業大学 本山キャンパス	9	38	

1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第111回	2016年5月21日～22日	東海大学	58	226	
第112回	2016年7月30日～8月1日	東京理科大学 野田キャンパス	22	72	
第113回	2016年10月14日～15日	国民宿舎能登小牧台	21	12	電子情報通信学会/日本音響学会
第114回	2017年2月27日～28日	ヤマハ(株)	27	107	

1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第111回	2016年5月16日～17日	東京工業大学	16	74	
第112回	2016年7月28日～30日	天童温泉・ほほえみの宿	15	57	併催：電子情報通信学会
第113回	2016年10月6日	早稲田大学	6	85	併催：人工知能学会
第114回	2016年12月20日～21日	NTT武蔵野ホール	26	56	電子情報通信学会
第115回	2017年2月17日～18日	琴平グランドホテル	13	38	

1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第72回	2016年6月2日～3日	情報セキュリティ大学院大学	18	38	電子情報通信学会
第73回	2016年9月2日	新潟大学「ときめいと」	10	20	
第74回	2016年11月17日～18日	長崎歴史文化博物館	16	18	
第75回	2017年2月17日	佛教大学 二条キャンパス	20	31	

1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第36回	2016年8月5日～6日	ソソフル函館	24	38	
第37回	2017年3月7日	早稲田大学	15	48	

1.3.10 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第40回	2016年6月2日～3日	岩手県立大学	20	21	電子情報通信学会
第41回	2016年8月5日～6日	カリフォルニア函館	24	30	
第42回	2017年1月27日～28日	ホテルパレ那須	6	12	
第43回	2017年3月10日～11日	慶應義塾大学 日吉キャンパス	21	52	

1.3.11 バイオ情報学研究発表会

第46回	2016年7月4日～6日	沖縄科学技術大学院大学	49	44	電子情報通信学会
第47回	2016年9月28日	産業技術総合研究所	5	22	
第48回	2016年12月9日	大阪大学 銀杏会館	3	10	
第49回	2017年3月23日～24日	北陸先端科学技術大学院大学	7	18	

1.3.12 教育学習支援情報システム研究発表会

第19回	2016年5月20日～21日	信州大学	16	60	電子情報通信学会
第20回	2016年11月18日～19日	徳島大学	9	28	
第21回	2017年3月21日～22日	京都大学	20	76	

1.3.13 アクセシビリティ研究発表会

第1回	2016年7月29日～30日	国立情報学研究所	21	63	
第2回	2016年12月2日～3日	国立情報学研究所	18	69	
第3回	2017年3月10日～11日	筑波技術大学 春日キャンパス講堂	27	36	電子情報通信学会

2. シンポジウム等

2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2016)	2016年6月6日～7日	東北大学 片平キャンパス	33	138
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOM2016) シンポジウム	2016年7月6日～8日	鳥羽シーサイドホテル	271	396
高齢社会デザインシンポジウム	2016年7月10日	東京大学 本郷キャンパス	3	65
情報教育シンポジウム2016 (SSS2016)	2016年8月22日～24日	グリーンピア大沼	32	72
ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2016 (SES2016)	2016年8月31日～9月2日	東洋大学 白山キャンパス	63	141
Webとデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2016)	2016年9月13日～15日	慶應義塾大学 日吉キャンパス	89	338
DAシンポジウム2016	2016年9月14日～16日	山代温泉 ゆのくに天祥	41	97
コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2016)	2016年10月11日～13日	秋田キャッスルホテル	193	612
SOUPS2016論文読破会	2016年10月17日	SECOM本社 セコムホール	19	25
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2016)	2016年10月19日～21日	プラザホテル山麓荘	43	74
組込みシステムシンポジウム2016 (ESS2016)	2016年10月20日～22日	早稲田大学	41	145
ゲームプログラミングワークショップ2016 (GPW2016)	2016年11月4日～6日	箱根セミナーハウス	34	81
エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2016)	2016年11月12日～14日	グランフロント大阪／相愛大学	71	214
グループウェアとネットワークサービスワークショップ2016	2016年11月18日～19日	草津温泉 ホテル&スパリゾート 中沢ヴィレッジ	15	32
コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2016)	2016年11月28日～30日	法政大学 市ヶ谷キャンパス	22	72
インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2016)	2016年12月1日～2日	福山大学 宮地茂記念館	27	76
人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2016)	2016年12月9日～11日	国文学研究資料館／国立国語研究所	36	104
災害コミュニケーションシンポジウム	2016年12月26日	電気通信大学	10	29
ウインターワークショップ2017・イン・飛騨高山	2017年1月19日～20日	高山市民文化会館／ひだホテルプラザ	51	68
高度交通システム2017シンポジウム	2017年1月20日	神奈川工科大学 アクティブラーニング横浜	6	40
インタラクション2017	2017年3月2日～4日	明治大学 中野キャンパス	222	684

2.2 教育活動分

高校教科「情報」シンポジウム2016春 in 名古屋 —ジョーシンめ～えき—	2016年5月15日	愛知県立大学 サテライトキャンパス	7	64
高校教科「情報」シンポジウム2016秋 —ジョーシン2016 —	2016年10月29日	早稲田大学西早稲田キャンパス	5	94

3. 事業活動

3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第79回全国大会	2017年3月16日～18日	名古屋大学 東山キャンパス	1441	3	2936

3.2 FIT (情報科学技術フォーラム)

FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム	2016年9月7日～9日	富山大学 五福キャンパス	598	1	1,344
-------------------------	--------------	--------------	-----	---	-------

※共催：電子情報通信学会 (情報・システムサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)

3.3 連続セミナー2016：テーマ「イノベーション最前線：変わりゆく社会と生活へのインパクトの源流を究める」

名称	開催年月	場所	演題数	本会場参加数	遠隔会場参加数
実世界に埋め込まれる人工知能	2016年6月28日	本会場：化学会館 遠隔会場：大阪大学中之島センター	5	118	36
ビッグデータ利活用を支えるクラウド基盤技術	2016年7月22日	本会場：日本大学 遠隔会場：大阪大学中之島センター	5	98	20
スマートなヘルスケアとライフケア	2016年9月30日		6	96	19
広がりを見せるIoTの現状と今後の展望	2016年10月28日		5	90	23
メディアアート	2016年11月15日	本会場：化学会館 遠隔会場：大阪大学中之島センター	5	56	6
フィンテック～ブロックチェーンの理解と応用～	2016年12月22日		5	80	15

※協賛：電子情報技術産業協会、情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザー協会、電子情報通信学会

3.4 短期集中セミナー

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
ソフトウェアテストの国際標準（ISO/IEC/IEEE 29119シリーズ）の活用～国際標準に基づくソフトウェアテストの成長に向けて～	2016年7月15日	機械振興会館	3	71	※協賛

※) NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会、IT検証産業協会

Exciting Coding! Junior 2016 スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう!	2016年11月6日	早稲田大学	---	14組29名	
画像・音声符号化伝送技術～標準化動向最前線および開発事例～	2016年11月25日	機械振興会館	7	27	※協賛

※) IEEE東京支部、電子情報通信学会、映像情報メディア学会

セキュリティ標準化最新動向～ISMS今後の展望／バイオメトリクス製品のセキュリティ評価～	2017年2月28日	機械振興会館	3	11	
----------------------------------------------	------------	--------	---	----	--

3.5 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム2016	2016年9月2日～4日	北海道函館市 ホテル恵風	16	21
第49回情報科学若手の会	2016年9月17日～19日	山喜旅館	19	46
第58回プログラミング・シンポジウム	2017年1月6日～8日	ラフォーレ倶楽部 伊東温泉湯の庭	28	96

3.6 IPSJ International AI Programming Contest

名称	開催年月	場所	チーム数	参加数	備考
Samurai Coding 2016-17 (Final Round)	2017年3月17日	名古屋大学東山キャンパス	16	20	※

※) 協賛：名古屋大学 大学院 情報科学研究科、IEEE Computer Society、IEEE Computer Society Tokyo/Japan Joint Chapter、IEEE Japan Office
情報科学国際交流財団、電子情報技術産業協会、情報サービス産業協会、日本ソフトウェア科学会、日本情報システム・ユーザー協会
電子情報通信学会、人工知能学会、China Computer Federation、The Korean Institute of Information Scientists and Engineers
後援：文部科学省、総務省、経済産業省、情報処理推進機構
ゴールドスポンサー：いい生活、日立製作所、レコチョク、チームラボ、富士通、公益財団法人クマ財団
サポーター：日本レジストリサービス、ヤフー
メディアスポンサー：ジースタイラス

4. 技術応用活動

4.1 個別ITフォーラム (6件)

名称	代表者名
サービスサイエンス	諏訪良武
ユニバーサルデザイン協創	萩川友宏
コンタクトセンター	宮崎義文
ビッグデータ活用実務	石井一夫
GITP	平林元明
勉強会	河口信夫

4.2 ITフォーラム関連のイベント

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
ソフトウェアジャパン2017 「データとAIが創り出す新たな価値」	2017年2月3日	一橋大学一橋講堂会議室・学術総合センターNII	5	767	※1.2

※1) 協賛：情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザー協会、電子情報技術産業協会、先端IT活用推進コンソーシアム、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、国立情報学研究所、情報通信研究機構、データサイエンティスト協会、人工知能学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、日本計算機統計学会、日本技術士会、日本統計学会、日本計量生物学会、情報計算化学生物学会、日本バイオインフォマティクス学会、応用統計学会

後援：文部科学省、経済産業省、総務省、科学技術振興機構、情報処理推進機構、スポンサー：8口、サポーター：28口、メディア出展：8口

※2) 招待講演5件のほか、パネル討論、SJアワード・デジタルプラクティス論文賞セレモニー、ITフォーラム6件（他団体連携2件（IPA・AITC））を開催

5. 支部活動（※役員会等は除く）

5.1 北海道支部

- ・情報処理北海道シンポジウム2016（10月1日、釧路公立大学） 演題数72件、参加者数173名
- ・支部講演会 1回（'16年6月10日）

5.2 東北支部

- ・電気関係学会東北支部連合大会（8月30-31日、東北工業大学） 演題数250件、参加者数512名
- ・支部研究会 7回（11月30日-12月1日、12月9日、12月17日、17年1月29日、2月10日、2月20日、3月7日）
- ・支部講演会 4回（6月22日、10月26日、11月30日、12月8日）

5.3 東海支部

- ・電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会（9月12-13日、豊田工業高専） 演題数490件、参加者数945名
- ・講演会 6回（5月16日、7月11日、9月29日、11月30日、12月15日、'17年2月21日）
- ・研究会 15回（協賛等）
- ・学生研究発表助成 1件

5.4 北陸支部

- ・特別講演会 1回（5月13日）
- ・研究講演会 2回（'17年3月4日）
- ・電気関係学会北陸支部連合大会（9月13-14日、福井工業大学） 演題数273件、参加者数542名
- ・北陸地区学生による研究発表会（'17年3月4日、福井工業高専）

5.5 関西支部

- ・関西支部支部大会（9月26日、大阪大学中之島センター） 演題数78件、参加者数157名
- ・支部研究会：社会知能研究会 1回（9月26日）、グリーン組込みコンピューティング研究会 1回（9月26日）、ネットワークサービス研究会 1回（9月26日）、プログラミング・情報教育研究会（5月6日、6月15日、17年1月27日、2月3日、2月10日、3月）
- ・行動変容と社会システム研究会（6月15日、9月26日、3月5日）
- ・支部セミナー 3回（7月31日、6月27日・7月4日、11月30日）
- ・講演会 1回（12月21日）
- ・連続セミナー2016（遠隔会場） 6回（6月28日、7月22日、9月30日、10月28日、11月15日、12月22日）

5.6 中国支部

- ・電気・情報関連学会中国支部連合大会（10月17日、広島大学） 演題数223件、参加者数409名
- ・講演会 9回（5月23日、7月11日、7月15日、8月4日、9月16日、10月3日、12月2日、'17年1月12日、2月28日、3月6日）
- ・講習会 6回（9月29日、11月11日、11月22日、12月2日、12月2日、12月7日）

5.7 四国支部

- ・電気系学会四国支部連合大会（9月17日、高知工科大学） 参加者数412名
- ・共催事業 5回（8月11日、9月12-13日、11月14日、12月11日、'16年3月3-4日）
- ・講演会 6回（5月20日、6月10日、12月7日、12月14日、17年1月19日）

5.8 九州支部

- ・電気関係学会九州支部連合大会（9月29-30日、宮崎大学） 講演数404件、聴講者数627名
- ・若手の会セミナー（9月12-13日、仙雲市） 参加者数12名
- ・火の国情報シンポジウム（'16年3月1-2日、鹿児島大学）
- ・講演会等 2回（9月9日、17年2月18日）

付3. 刊行物（機関誌・図書）一覧

1. 会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				記事数	本文頁数	広告頁数
2016年4月15日	57	5	自動運転システムにおける情報処理技術の最新動向	18	83	6
2016年5月15日	57	6	音楽を軸に広がる情報科学	28	85	6
2016年6月15日	57	7	リンクト・オープン・データの利活用／乗り物の情報セキュリティと安全性	24	115	6
2016年7月15日	57	8	SAT技術の進化と応用	42	123	6
2016年8月15日	57	9	フィンテック／ここまで来た！アプリケーションによる個人学習	25	127	5
2016年9月15日	57	10	人工知能学会共同企画—人工知能とは何か？／汎光線時空間映像学	35	117	4
2016年10月15日	57	11	ゲーム産業の最前線～企画、デザインからビジネスモデルまで～	23	117	6
2016年11月15日	57	12	社会を変えるブロックチェーン技術／学校まるごとわくわくプログラミング—品川区立京陽小学校の事例—	26	111	4
2016年12月15日	58	1	豊かな体験をつくるエンタテインメントコンピューティング技術／人をエンパワーする情報学	22	91	6
2017年1月15日	58	2	8Kスーパーハイビジョン放送を支えるメディア伝送技術—8K時代の伝送と信号処理—	16	75	6
2017年2月15日	58	3	エドテック／Live EI：～活きた地球の環境情報～デジタル環境情報の中で自律的な生成／流通／加工／共有に向けて	27	101	6
2017年3月15日	58	4	人の気づきに迫る—認知科学、心理学からのアプローチ—	20	77	4

2. 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

※オンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				論文数	付加資料数	本文頁数
2016年4月15日	57	4	インタラクションの理解および基盤・応用技術	26	1	223
2016年5月15日	57	5	音楽情報処理技術の進歩とその拡がり／社会に浸透する情報システム	20	1	194
2016年6月15日	57	6	---	6	0	52
2016年7月15日	57	7	Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2015	14	0	87
2016年8月15日	57	8	組込みシステム工学	20	1	235
2016年9月15日	57	9	社会の変革に挑戦するセキュリティ技術とプライバシー保護技術	27	1	244
2016年10月15日	57	10	ユビキタス・コンピューティングシステム(V)	21	0	185
2016年11月15日	57	11	ゲームプログラミング	18	0	188
2016年12月15日	57	12	エンタテインメントコンピューティング／ヒトとモノを中心としたセキュアで信頼できる社会に向けて	32	3	355
2017年1月15日	58	1	社会を繋げるパーベイシブシステムと高度交通システム／ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス	34	2	296
2017年2月15日	58	2	ネットワークサービスと分散処理／組込みシステム工学	40	2	331
2017年3月15日	58	3	IoT時代のインターネットと運用技術／2020年に向けた情報処理技術	14	2	140

3. 「Journal of Information Processing (JIP)」 (隔月刊/2017年1月より月刊)

※オンライン刊行のみ

発行年	巻	号	備考	その他参考		
				論文数	テクニカルノート数	本文頁数
2016年5月15日	24	3	トランザクション連携論文: 3	14	0	147
2016年7月15日	24	4	トランザクション連携論文: 5	14	0	153
2016年9月15日	24	5	トランザクション連携論文: 1	8	0	84
2016年11月15日	24	6	トランザクション連携論文: 5	12	0	122
2017年1月15日	25	—	トランザクション連携論文: 2	11	2	130
2017年2月15日	25	—	トランザクション連携論文: 3	14	1	146
2017年3月15日	25	—	トランザクション連携論文: 2	4	0	40

4. 「情報処理学会論文誌 (トランザクション)」 (不定期、10誌)

※オンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	トランザクション名	その他参考	
				論文数	本文頁数
2016年05月24日	9	2	プログラミング	2	7
2016年06月06日	9	3	プログラミング	1	28
2016年09月12日	10	1	プログラミング	5	32
2017年01月06日	10	2	プログラミング	4	34
2017年02月27日	10	3	プログラミング	2	5
2016年08月10日	9	2	数理モデル化と応用	6	60
2016年12月14日	9	3	数理モデル化と応用	9	86
2017年03月20日	10	1	数理モデル化と応用	4	49
2016年06月29日	9	2	データベース	6	54
2016年09月30日	9	3	データベース	4	24
2016年12月22日	9	4	データベース	8	56
2017年03月22日	10	1	データベース	4	39
2016年07月14日	9	2	コンピューティングシステム	5	63
2016年08月04日	9	3	コンピューティングシステム	1	13
2016年11月17日	9	4	コンピューティングシステム	5	61
2016年05月24日	6	1	コンシューマ・デバイス&システム	11	120
2016年09月22日	6	2	コンシューマ・デバイス&システム	5	51
2017年01月26日	7	1	コンシューマ・デバイス&システム	6	52
2016年08月30日	4	2	デジタルコンテンツ	5	54
2017年02月28日	5	1	デジタルコンテンツ	5	46
2016年06月01日	2	1	教育とコンピュータ	6	47
2016年10月07日	2	2	教育とコンピュータ	8	94
2017年02月22日	3	1	教育とコンピュータ	9	85
2016年08月03日	9	-	Bioinformatics	1	6
2017年01月20日	10	-	Bioinformatics	1	7
2017年03月29日	10	-	Bioinformatics	1	7
2016年08月03日	9	-	System LSI Design Methodology	4	35
2017年02月03日	10	-	System LSI Design Methodology	4	43
2016年04月12日	8	-	Computer Vision and Applications	1	9
2016年05月23日	8	-	Computer Vision and Applications	1	11
2016年08月02日	8	-	Computer Vision and Applications	5	32
2016年09月06日	8	-	Computer Vision and Applications	1	11
2016年09月14日	8	-	Computer Vision and Applications	1	7
2016年11月03日	8	-	Computer Vision and Applications	1	15
2016年11月05日	8	-	Computer Vision and Applications	1	11

2016年12月09日	8	-	Computer Vision and Applications	1	14
2017年01月13日	9	-	Computer Vision and Applications	1	12
2017年02月09日	9	-	Computer Vision and Applications	1	15
2017年03月01日	9	-	Computer Vision and Applications	1	10
2017年03月14日	9	-	Computer Vision and Applications	1	10
2017年03月15日	9	-	Computer Vision and Applications	2	11
2017年03月16日	9	-	Computer Vision and Applications	1	6

5. 「情報処理学会デジタルプラクティス」(年4回)

				その他参考	
発行年月日	巻	号	特集テーマ	論文数	本文頁数
2016年4月15日	7	2	オープンサービスイノベーション	14	130
2016年7月15日	7	3	俊敏さを実現する新しい情報システム開発	13	126
2016年10月15日	7	4	人工知能の実践的活用	8	86
2017年1月15日	8	1	ICTとダイバーシティ社会	9	100

6. その他出版(新刊)

※判型:A5、委託出版社名:オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
2016年9月15日	IT textシリーズ 音声認識システム(改訂2版)(2版1刷)	1,200	214
2016年10月20日	IT Textシリーズ 人工知能(改訂2版)(2版1刷)	1200	188
2017年11月20日	IT textシリーズ 情報と職業(改訂2版)(2版1刷)	1500	228
2017年12月25日	IT textシリーズ 画像工学(1版1刷)	2000	232
2017年1月25日	IT textシリーズ 基礎Web技術(改訂2版)(2版1刷)	600	188
2017年2月25日	IT textシリーズ 応用Web技術(改訂2版)(2版1刷)	1200	198
2017年3月25日	IT textシリーズ ソフトウェア工学(改訂2版)(2版1刷)	1200	228

7. その他出版(重版)

※いずれも、判型:A5、委託出版社名:オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
2016年4月5日	IT textシリーズ 人工知能(1版10刷)	121	188
2016年6月10日	IT textシリーズ データマイニングの基礎(1版8刷)	300	286
2016年8月20日	IT textシリーズ ソフトウェア開発(改訂2版)(2版2刷)	500	224
2016年8月10日	IT textシリーズ 音声認識システム(1版12刷)	37	214
2016年8月20日	IT textシリーズ(一般教育) 情報とネットワーク社会(1版4刷)	800	192
2016年9月5日	IT textシリーズ 応用Web技術(1版10刷)	135	210
2016年9月5日	IT textシリーズ 情報リテラシー(1版11刷)	100	248
2016年9月20日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習(1版11刷)	100	228
2016年9月30日	IT textシリーズ 確率統計学(1版2刷)	160	252
2016年9月30日	IT textシリーズ インターネットプロトコル(1版3刷)	80	272
2016年9月10日	IT textシリーズ 自然言語処理(1版7刷)	110	182
2016年10月10日	IT textシリーズ(一般教育) 情報と社会(1版9刷)	70	212
2016年11月5日	IT textシリーズ 離散数学(1版3刷)	300	240
2016年11月20日	IT textシリーズ 分散処理(1版4刷)	300	228
2016年12月20日	IT textシリーズ データベース(1版15刷)	700	196
2016年12月20日	IT textシリーズ 応用Web技術(1版11刷)	32	210
2017年1月25日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション(改訂2版)(2版2刷)	1200	260
2017年1月25日	IT textシリーズ オペレーティングシステム(1版20刷)	1000	230
2017年2月10日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ(1版12刷)	400	236
2017年2月25日	IT textシリーズ 情報セキュリティ(1版13刷)	300	268
2017年2月25日	IT textシリーズ Java基本プログラミング(1版4刷)	400	234
2017年2月25日	IT textシリーズ 組込みシステム(1版5刷)	300	266
2017年2月25日	IT textシリーズ(一般教育) 情報とコンピュータ(1版5刷)	600	166

2017年2月25日	IT textシリーズ (一般教育) 情報システム基礎 (1版10刷)	800	218
2017年2月25日	IT textシリーズ アルゴリズム論 (1版15刷)	700	230
2017年3月5日	IT textシリーズ 情報と職業 (改訂2版) (2版2刷)	600	228
2017年3月10日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習 (1版12刷)	142	228
2017年3月20日	IT textシリーズ (一般教育) 情報とコンピューティング (1版12刷)	91	212
2017年3月30日	IT textシリーズ 情報セキュリティ (1版14刷)	400	268

付4. 国際会議一覧

※以下は、2016年度内に終了報告が完了した国際会議

名称	開催年月	場所	参加数	内 海外参加	海外 共催団体
The 7th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2014)	2014年1月6日-8日	シンガポール (Stamford Road)	78名	20名	---
The 8th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2015)	2015年1月20日-22日	日本 (北海道)	84名	31名	---
8th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2016)	2016年9月14日-16日	日本 (石川)	128名	44名	---

付5. 表彰等 *いずれも所属（ ）内は選定当時、掲載は順不同、敬称略

1. 新名誉会員（3名） [2017年度定時総会（2017年6月）表彰] [理事会（2017年1月）]

- ・ 寛 捷彦（元早大）
- ・ 鈴木健二（元電通大）
- ・ 寺中勝美（NTTソフトウェア）

2. 功績賞（3名） [2017年度定時総会（2017年6月）表彰] [功績賞選定委員会（2017年3月）]

- ・ 阪田史郎（千葉大）
- ・ 田中克己（京大）
- ・ 中田登志之（東大）

3. 新フェロー（7名） [2017年度定時総会（2017年6月）表彰] [フェロー選定委員会（2017年2月）]

- ・ 相澤彰子（NII） 「テキスト文書の解析と活用に関する研究およびその学術コンテンツへの適用」
- ・ 大須賀昭彦（電通大） 「形式仕様およびエージェント技術などの発展と実用化に対する貢献と人材育成」
- ・ 加藤和彦（筑波大） 「二次記憶情報管理、分散システムおよびソフトウェアセキュリティ研究に対する貢献」
- ・ 木俣 豊（NICT） 「ユニバーサルコミュニケーション技術の実用化と産学連携による普及推進」
- ・ 中村 宏（東大） 「高性能・省電力プロセッサアーキテクチャ技術に対する貢献」
- ・ 松浦幹太（東大） 「情報セキュリティ技術の体系的な研究とセキュリティ経済学の先駆的研究」
- ・ 村瀬 洋（名大） 「画像認識と映像探索に関する先駆的研究に対する貢献」

4. 論文賞（9件29名） [2017年度定時総会（2017年6月）表彰] [論文賞選定委員会（2017年2月）]

(1) 情報処理学会論文賞

- ・ 早期インシデント対応を目的としたDRDoS攻撃アラートシステム
牧田 大佑、西添 友美、吉岡 克成、松本 勉（横浜国立大）、井上 大介、中尾 康二（情報通信研究機構）
- ・ 線形ブレンドスキニングのための例示ベース補助骨リグ構築
向井 智彦（東海大）
- ・ パブリックスペース設置型無線APIにおけるダウンリンク帯域の不正占有対策
新田 翔平、重安 哲也（県立広島大）
- ・ クラウド上の安全で高速なキーワード検索アルゴリズムの提案
清 雄一（電気通信大）、竹之内 隆夫（NEC）、大須賀 昭彦（電気通信大）
- ・ XPath充足可能性を判定する多項式時間アルゴリズムの提案と評価
杉村 憲司、石原 靖哲、藤原 融（阪大）

(2) Journal of Information Processing Outstanding Paper Award

- ・ A Method for Navigating Cars in Multilevel Parking Facility
Hiroaki Kikuchi（明大）、Katsumi Takahashi（NTT）

(3) 情報処理学会論文誌 コンシューマ・デバイス&システム 優秀論文賞

- ・ 電力ディスアグリゲーション技術の小規模店舗適用
尾崎 友哉、内田 尚和（日立製作所）、峰野 博史（静岡大）

(4) 情報処理学会論文誌 コンピューティングシステム 優秀論文賞

- ・ 新しいタスクモデルによるメニーコア環境に適したMPIノード内通信の実装
島田 明男、堀 敦史、石川 裕（理化学研究所）

(5) IPSJ Transactions on Computer Vision and Applications Outstanding Paper Award

- ・ Computer Simulation of Color Confusion for Dichromats in Video Device Gamut under Proportionality Law
Hiroshi Fukuda（北里大）、Shintaro Hara（東大）、Ken Asakawa, Hitoshi Ishikawa,
Makoto Noshiro（北里大）、Mituaki Katuya（静岡大）

5. 業績賞（3件15名、*：代表貢献者） [2017年度定時総会（2017年6月）表彰] [業績賞選定委員会（2017年3月）]

- ・ 「多種多様なデバイスをクラウドに接続するIoT基盤技術の研究開発と実用化・標準化」
*松倉隆一、角田 潤、矢野 愛（富士通研）、高橋英一郎、長谷川一知（富士通）
- ・ 「短時間・低通信負荷・高精度な通信速度推定技術の開発と実用化」
*大芝 崇、里田浩三、中島一彰、鈴木基広、三本杉国秀（NEC）
- ・ 「カメラ搭載型エアコンの省エネ画像処理技術」
*小松佑人、浜田宏一（日立）、神野憲之、能登谷義明、木村士良（日立ソリューションズ空調）

6. マイクロソフト情報学研究賞 (2名)[第79回全国大会 (2017年3月) 表彰] [マイクロソフト情報学研究賞選定委員会 (2016年12月)]

- ・五十嵐悠紀 (明大) 「手芸のための対話的な形状デザイン手法」
- ・岡崎直観 (東北大) 「言語データの意味的解析による知識獲得と社会観測に関する研究」

7. 山下記念研究賞 (54編) [第79回全国大会 (2017年3月) 表彰] [各領域委員会 (2016年7月)]

<コンピュータサイエンス領域>

- ・統計情報制限下におけるRDF問合せ最適化のための結合選択率の間接的見積り手法 [データベースシステム] 的野晃整(産総研)
- ・生態系モデルに基づくオンライン活動データの非線形解析 [データベースシステム] 松原靖子(熊本大)
- ・ソースコードの静的検査における警告の版間追跡ツール [ソフトウェア工学] 桑原寛明(南山大)
- ・コンカレントフィードバック開発方法の車載ソフトウェア開発への適用 [ソフトウェア工学] 林 健吾(デンソー)
- ・ランダムバッファの発行キューにより生じる性能低下の抑制 [システム・アーキテクチャ] 酒井信二(名大)
- ・分散ルータによる高性能NoC [システム・アーキテクチャ] 安戸僚汰(慶大)
- ・縮退表現に基づくシーケンスパターン集合の圧縮 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 川島英之(筑波大)
- ・統計的タイミングモデルに基づくニアスレッショルド回路のゲートサイジング [システムとLSIの設計技術] 塩見 準(京大)
- ・サブスレッショルド領域におけるラッチ回路の動作安定性モデル [システムとLSIの設計技術] 鎌苅竜也(東芝)
- ・FPGAによる津波シミュレーションの専用ストリーム計算ハードウェアと性能評価 [ハイパフォーマンスコンピューティング] 佐野健太郎(東北大)
- ・NVIDIA GPUにおけるメモリ律速なBLASカーネルのスレッド数自動選択手法 [ハイパフォーマンスコンピューティング] 掠木大地(理研)
- ・RL78マイコン向けCコンパイラCC-RLにおける機種依存最適化の設計 [プログラミング] 千葉雄司(日立)
- ・幾何双対ナップサック多面体の体積のためのFPTAS [アルゴリズム] 安藤 映(崇城大)
- ・Periodic Pattern Mining with Periodical Co-occurrences of Symbols [数理モデル化と問題解決] 大滝啓介(豊田中研)
- ・企業内部品情報システムにおける部品選定作業効率化のための類似設計者抽出手法の提案および有効性の評価[組込みシステム] 山本達也(富士通研)

<情報環境領域>

- ・脳波からの指示による電動車いす制御システムの実装と評価 [マルチメディア通信と分散処理] 中沢 実(金沢工大)
- ・動的に変化するネットワークシステムのための知識型障害解決支援システム [マルチメディア通信と分散処理] 谷村優介(東北大)
- ・眼球型ディスプレイによる視線方向提示手法の開発 [ヒューマンコンピュータインタラクション] 河野大器(アルパイン)
- ・曲率フローに基づく閉曲線ブレンディング [コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学] 平野正浩(東大)
- ・写真からの多色織パターン生成 [コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学] 豊浦正広(山梨大)
- ・難聴者の生活スタイルとその生活音支援 [情報システムと社会環境] 猿舘 朝(東北化学薬品)
- ・Performance Evaluation of Proactive Content Caching for Mobile Video through 50-User Field Experiment[オーディオビジュアル複合情報処理] 金井 謙治(早大)
- ・DIVE: 視覚的連続性をもった3次元入力可能な液体ディスプレイ [グループウェアとネットワークサービス] 小島夏海(ヤフー)
- ・拡張現実感による食品咀嚼回数の増加手法 [グループウェアとネットワークサービス] 井上亮文(東京工科大)
- ・システム開発系PBL教育での組織的メンタリングのための情報共有 [ドキュメントコミュニケーション] 渡辺知恵美(筑波大)
- ・装着型センサを用いた生体温熱モデルにおける日射熱のモデル化とパラメータ調整法の提案 [モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム] 濱谷尚志(阪大)
- ・軍艦島センサネットワークのためのタスクスケジューリングの設計と評価[モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム] 黒木琴海(静岡大)
- ・メモリ再利用禁止によるUse-After-Free脆弱性攻撃防止手法の実現と評価 [コンピュータセキュリティ] 山内利宏(岡山大)
- ・ゲノム検査結果の開示によるプライバシー侵害の評価 [コンピュータセキュリティ] 荒井ひろみ(東大)
- ・Dynamic Time Warpingを用いた路側設置マイクロフォンによる車両カウントシステムの設計と初期的評価 [高度交通システムとスマートコミュニティ] 石田繁巳(九大)
- ・家庭内行動センシングにおける機械学習データの家庭間転移について [ユビキタスコンピューティングシステム] 井上創造(九工大)
- ・みまもめイト: 家族介護者のための介護記録用Webアプリの開発とその効果 [ユビキタスコンピューティングシステム] 山下直美(NTT)
- ・TLS/SSLプロトコルを対象とした汎用ハニーポットシステムの実装とHTTPSによる収集結果 [インターネットと運用技術] 佐藤 聡(筑波大)
- ・なぞり操作によるメール誤送信抑止手法の検討 [インターネットと運用技術] 中村麻奈美(KDDI)
- ・全周囲型メンタルローテーションCAPTCHAの提案 [セキュリティ心理学とトラスト] 藤田真浩(静岡大)

・対災害情報分析システムDISAANA及びその質問応答モードの性能評価 [コンシューマ・デバイス&システム]

水野 淳太(NICT)

・インタラクティブコンテンツ「お絵描きダンスステージ」の開発 [デジタルコンテンツクリエイション]

水野慎士(愛知工大)

・介護映像に基づくマルチモーダル・チーム・インタラクションの分析 [高齢社会デザイン]

石川翔吾(静岡大)

<メディア知能情報領域>

・畳み込みニューラルネットワークを用いた複単語表現の解析 [自然言語処理]

進藤裕之(奈良先端大)

・親近アンビエントエージェントの継続的先行行動によるユーザの自発行動変容効果 [知能システム]

藤原邦彦(関西大)

・Shape from Scattering: Shape Estimation for Translucent Objects Based on Light Transport Analysis[コンピュータビジョンとイメージメディア]

井下智加(キヤノン)

・Four-dimensional City Modeling using Vehicular Imagery [コンピュータビジョンとイメージメディア]

櫻田 健(名大)

・未来の情報倫理教育 [コンピュータと教育]

辰己丈夫(放送大)

・高等学校情報科における教科担任の現状 [コンピュータと教育]

中山泰一(電通大)

・Motion Characteristics of Bon Odori Dances in Areas along Ushu Kaido Road in Akita Domain [人文科学とコンピュータ]

三浦 武(秋田大)

・楽譜と表情を関連付けた統計モデルに基づく楽器演奏の比較分析の検討 [音楽情報科学]

奥村健太(ディー・ディー・エス)

・基本周波数推定法の性能を概観するフレームワークの試作 [音楽情報科学]

森勢将雅(山梨大)

・統計的パラメトリック音声合成のためのFFTスペクトルからのDeep Auto-encoderに基づく低次元音響特徴量抽出[音声言語情報処理]

高木信二(NII)

・プライバシーに配慮したアプリケーションログ出力の設計 [電子化知的財産・社会基盤]

石田 茂(情報セキュリティ大)

・期待最終順位に基づくコンピュータ麻雀プレイヤーの構築 [ゲーム情報学]

水上直紀(東大)

・Toolification of Games: 既存ゲームの余剰自由度の中で非ゲーム的目的を達成するゲーミフィケーションの考察

[エンタテインメントコンピューティング]

栗原一貴(津田塾大)

・難易度の高い協力型ボードゲームによる縦割り組織思考の克服 [エンタテインメントコンピューティング]

塩瀬隆之(京大)

・三次元空間における効率良い近似点集合マッチングと分子パターン照合への応用 [バイオ情報学]

佐々木耀一(北大)

・円滑なコミュニケーション形成支援を目的とした符号化・記述手法 [教育学習支援情報システム]

後藤義貴(三菱電機)

8. 大会優秀賞・大会奨励賞

[第79回全国大会 (2017年3月) 表彰] [第78回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会]

(1) 大会優秀賞 (9名)

・秋山賢人 (筑波大)

・荒木宏允 (湘南工科大)

・柴田 瞬 (静岡大)

・林 政行 (名古屋工大)

・松井泰地 (名古屋工大)

・松尾映里 (お茶の水女子大)

・宮城優里 (お茶の水女子大)

・森田 一 (京大)

・萬 直之 (岩手県立大)

(2) 大会奨励賞 (10名)

・小川愛理 (東工大)

・木下恵理子 (東京農工大)

・鈴木彼方 (早大)

・高橋啓伸 (岩手県立大)

・趙 佗 (東京電機大)

・中島由勝 (慶大)

・中村 司 (東大)

・橋本悠香 (慶大)

・古川翔一 (早大)

・堀 孝浩 (神奈川工科大)

9. 教育賞

[2017年度定時総会 (2017年6月) 表彰] [情報処理教育委員会 (2017年3月)]

(1) 優秀教育賞 (1件)

・松林勝志 (東京高専)

「ITコンテストを通じた情報教育と組み込みシステム開発マイスターの取り組み」

10. 若手奨励賞 (12件)

[当該コンテストにて表彰] [若手奨励賞選定委員会 (2016年4月~2017年3月)]

<第22回スーパーコンピューティングコンテスト (2016年8月) >

・「KISS」

仲吉 朝洋、竹田 翔、正好 奏斗 (慶應義塾高等学校)

<第27回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2016年10月) 課題部門>

・リアルタイムに選手とシンクロするスポーツ観戦システム

富平 準喜、吉川 千里、瀧島 和則、小牧 瑛一、丸 龍之介 (東京工業高等専門学校)

<第27回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2016年10月) 自由部門>

・みつばちずードローンを用いた防災減災地図作成システム

高嶋 大和、杉野 寿揮、濱口 祐輝、服部 魁人、河口 祭 (鳥羽商船高等専門学校)

<第27回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2016年10月) 競技部門>

・一致百慮 小野 日麗、黒飛 達也、市川 誠 (弓削商船高等専門学校)

<ETロボコン2016 プログラミング部門 (2016年11月) >

・「NANZI」 山崎 直陽、吉本 潤、古川和樹、野下正伍 (麻生情報ビジネス専門学校)

<パソコン甲子園2016 プログラミング部門 (2016年11月) >

・「IQ19」 高谷 悠太、依知川 空 (開成高等学校)
・「K2」 川崎 理玖、河原井 啓 (筑波大学附属駒場高等学校)
・「Is」 井上 卓哉、伊佐 碩恭 (開成高等学校)

<パソコン甲子園2016 モバイル部門 (2016年11月) >

・「HKT4.8」 樋口 芳、立松 諒也、弘部 大知 (鈴鹿工業高等専門学校)

<第16回日本情報オリンピック (2017年3月) >

・川崎 理玖 (筑波大学附属駒場高等学校) ・高谷 悠太 (開成高等学校) ・米田 寛峻 (開成中学校)

11. 学会活動貢献賞/感謝状

[2017年度定時総会 (2017年6月) 表彰] [総務財務運営委員会 (2017年1月)]

(1) 学会活動貢献賞: 「学会誌における編集業務への貢献」 (1名)

・土井千章 (NTTドコモ)

(2) 学会活動貢献賞: 「論文誌への査読貢献」 (3名)

・藤田 茂 (千葉工大) ・三浦元喜 (九州工大) ・松浦幹太 (東大)

(3) 学会活動貢献賞: 「デジタルプラクティスへの査読貢献」 (1名)

・小林秀承 (NTT)

(4) 学会活動貢献賞: 「Exciting Coding! の運営への貢献」 (1名)

・杉田由美子 (日立)

(5) 学会活動貢献賞: 「プログラミングコンテストSamurai Codingの運営への貢献」 (2名)

・佐藤靖治 (NII) ・細野裕章 (アプリポット)

(6) 学会活動貢献賞: 「第78回全国大会開催への貢献」 (1名)

・重野 寛 (慶大)

(7) 学会活動貢献賞: 「FIT2016第15回情報科学技術フォーラム開催への貢献」 (1名)

・柴田 啓司 (富山大)

(8) 感謝状: 「論文誌編集業務への貢献」 (4名) *表彰は論文誌編集委員会

・立石 孝彰 (日本IBM) ・重安 哲也 (県立広島大) ・藤田 桂英 (東京農工大) ・豊浦 正広 (山梨大)
・木俣 豊 (NICT) ・八木 康史 (阪大) ・追川 修一 (筑波大)

12. 支部関係

[各支部総会・支部連合大会等にて表彰] [各支部]

<北海道>

- (1) 研究奨励賞 (5名) ・稲垣 惇也 ・櫻井 仁貴 ・西川 奏 ・矢吹 溪悟 ・渡辺 僚
(2) 学術研究賞 (2件) ・内山 俊郎 ・熊木 逸人、秋山 尚之、橋爪 宏達、杉本 雅則
(3) 技術研究賞 (2件) ・市橋 克哉、塩谷 浩之、前原 洋祐、郷原 一寿
・御手洗 彰、棟方 渚、小野 哲雄
(4) ポスター賞 (4名) ・今野 陽子 ・佐藤 寛己 ・杉中 出帆 ・ノロブエルデネ バトザヤー
(5) 工業高専奨励賞 (3名) ・谷 修一 ・外山 拓 ・荒井 孝也

<東北>

- (1) 学生奨励賞 (14名) ・高崎 亮 ・中村悦郎 ・加藤巧大 ・菅原康滉 ・上田翔磨 ・小関裕一郎 ・大房建一郎
・相見伸篤 ・佐藤 純 ・園部達也 ・安田雄飛 ・小野智央 ・霜山 翼 ・富樫亮太
(2) 奨励賞: 5名程度
(3) 野口研究奨励賞: 1名程度

<東海>

- (1) 電気関係学会東海支部連合大会奨励賞他受賞者 (9名)
・都築夏樹 ・岩田 知 ・鈴木晃平 ・古谷康幸 ・岩倉亮介 ・金松友哉 ・立岩 佳 ・北村友香 ・伊藤雅大
(2) 学生論文奨励賞 (6名)
・石樽隼人 ・梅山莉奈 ・小川真彩高 ・河合孔明 ・島 孔介 ・松本克也

<北陸>

- (1) 優秀論文発表賞 (8名) ・石塚大貴 ・平方 敦 ・小沼 遼 ・藤田侑弥 ・浜崎琢司 ・松井将吾 ・今井祐輔 ・中村諒
(2) 優秀学生表彰 (12名) ・川崎邦将 ・牧野晃大 ・桶作雄輝 ・谷内 泉 ・小川勇太 ・小沼 遼

<関西>

- (1) 学生奨励賞 (5名) ・今川七海 ・森田達弥 ・福井綺花 ・榎田宗文 ・小野田将人
※他支部大会奨励賞26名

<中国>

- (1) 優秀論文発表賞 (3名) ・坂上駿仁 ・村重哲史 ・山本涼太
(2) 奨励賞 (6名) ・青木美帆 ・井内健人 ・上林和正 ・國安 哲郎 ・久保 一雄 ・竹内 尚紀

<四国>

- (1) 学生奨励賞

<九州>

- (1) 奨励賞-連合大会 ・木下 和弥 ・窪川美智子 ・末吉智奈佐 ・石田 竹至 ・田村 元貴 ・TENDE Isakwisa Gaddy
(2) 奨励賞-火の国シンポ ・久富あすか ・金子晃介 ・小宮峻輔 ・根比 瞭 ・堀之内惇樹
(3) 奨励賞-若手の会 ・岩本 舞

13. 情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館

[第79回全国大会 (2017年3月) 認定] [歴史特別委員会]

- (1) 情報処理技術遺産 (8件) ※ () 内は製造者、製造年
・ 沖電気数字印刷電信機 (沖電気、1952年)
・ FACOM138A 一式 (富士通信機製造 (現・富士通)、1960年)
・ リレー式計算機 AL-1型 (カシオ計算機、1962年)
・ HARP 5020関連資料 (日立製作所、1965年)
・ JIS FORTRAN入門 (上) (下) (東京大学出版会、1968-1969年)
・ カシオ ミニ (カシオ計算機、1972年)
・ HITAC M-180論理パッケージ (日立製作所、1976年、1979年)
・ CASEソフトウェア SEA/I (日本電気、1983年)

14. デジタルプラクティス論文賞 (1件1名)

[ソフトウェアジャパン2016 (2016年2月) 表彰] [デジタルプラクティス編集委員会]

- ・ 浪江町におけるタブレットを利用したきずな再生・強化事業-住民参加型の課題定義から開発プロセスまで-
関 治之 (コード・フォー・ジャパン)

15. ソフトウェアジャパンアワード (2名)

[ソフトウェアジャパン2017 (2017年2月) 表彰]

- ・ Deep Learningのフレームワークの開発 得居誠也 (Preferred Networks)
・ 純国産データ連携ミドルウェア「ASTERIA」の開発と事業化 平野洋一郎 (インフォテリア)

16. FIT関連の各賞

[FIT2016 (2016年9月) 表彰] [FIT推進委員会]

- (1) FIT2016船井業績賞 (1名) ※船井情報科学振興財団主催
・ 伊藤博之 (クリプトン・フューチャー・メディア)
- (2) FIT2016 船井ベストペーパー賞 (3件) ※船井情報科学振興財団主催
・ 長距離移動マタニティの受療行動支援システム構築に向けた研究 土田 葉、皆月昭則 (釧路公立大)
・ 訓点資料を対象とした翻刻支援システムの構築および評価 田中 勝、村川猛彦 (和歌山大)、宇都宮啓吾 (大阪大谷大)
・ 高時間分解能制御に基づく符号化志向型映像生成アルゴリズム 坂東幸浩、高村誠之、清水 淳 (NTT)
- (3) FIT2016 論文賞 (3件)
・ スパース性制約に基づく適応イントラ予測器の最適設計 佐山雄一、坂東幸浩、高村誠之、清水 淳 (NTT)
・ 実行時の動的かつ頻繁なグループ変更に対応可能なMPI環境下でのマルチキャストの実装 長嶺祐輔、福間慎治、森真一郎 (福井大)
・ リズムチューナー：アノテーション情報を用いないリアルタイム発音検出によるリズム練習支援システム
山田昌尚、松尾 章弘 (釧路工専)、峯 恭子 (大阪大谷大)、土江田織枝 (釧路工専)

(4) FIT2016ヤングリサーチ賞 (6名) ※FIT2017 (2017年9月) 表彰

- ・中野正隆 (筑波大)
- ・滝川真弘 (早大)
- ・佐々木崇元 (NTT)
- ・加藤 裕 (神戸大)
- ・池田正隆 (千葉大)
- ・山内義晴 (立命館大)
- ・渋谷卓磨 (釧路公立大)
- ・吉岡菜里子 (兵庫県立大)

17. 情報規格調査会関連の表彰

- (1) 標準化功績賞 (3名) [情報規格調査会総会 (2016年5月) 表彰] [情報規格調査会]
・鈴木輝彦 (ソニー) ・三上喜貴 (長岡技術科学大) ・山下経 (日立)
- (2) 標準化顕功賞 (2名) [情報規格調査会総会 (2016年5月) 表彰] [情報規格調査会]
・銀林純 ・村上篤道
- (3) 標準化貢献賞 (10名) [情報規格調査会総会 (2016年5月) 表彰] [情報規格調査会]
・赤平信夫 ・岡部雅夫 (東北工業大) ・高井弘光 (流通システム開発センター)
・中島毅 (芝浦工業大) ・成井良久 (日本マイクロソフト) ・原田登 (NTT) ・村田真 (国際大)
・藪田和夫 ・山田悦久 (三菱電機) ・横川文彦 (パイオニア)
- (4) 国際規格開発賞 (21名 : 23件) [情報規格調査会 技術委員会 (2016年4月~2月) 表彰] [情報規格調査会]
・畔津布岐 (JIPDEC) ・石川孝明 (早稲田大・2件) ・小川茂孝 (アイシーティーリンク・2件)
・小寺孝 (日立) ・小町祐史 (国士館大学) ・坂本健一 (NTTデータ) ・櫻井玄弥 (IPA)
・鈴木輝彦 (ソニー・2件) ・鈴木俊宏 (日本オラクル) ・関喜一 (産総研・2件) ・妹尾孝憲 (NICT)
・高橋光裕 (IPA) ・谷津行穂 ・野田夏子 (芝浦工業大) ・原田登 (NTT)
・宮川寧夫 (サイバー・ソリューションズ) ・宮地充子 (大阪大学大学院) ・村上隆史 (パナソニック)
・藪田和夫 ・山田淳 (東芝ソフトウェア・コンサルティング) ・和田典子 (山梨英和大)
- (5) 工業標準化事業表彰 [工業標準化表彰式 (2016年10月) 表彰] [経済産業省]
・工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰 : 三上喜貴 (長岡技術科学大)
・工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰 : 山下経 (日立)
・国際標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰) : 知念徹 (ソニー)
・国際標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰) : 平林光浩 (ソニー)
・国際標準化奨励者表彰 (産業技術環境局長表彰) : 福島茂 (JVCケンウッド)

その他および附属明細書（法定記載事項）

1. その他、内部統制の整備についての決議に該当はありません。
2. その他、事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以上